

(5) 農林費

○ 多様な担い手の確保・育成の推進

本市の中核的な農業者に対し、経営基盤を強化促進するため、農業機械等の整備費用の一部を助成した。

また、「はだの市民農業塾」による新規就農希望者への研修事業を実施するとともに、50歳未満で積極的に取り組む意欲のある新規就農者に対し、農業次世代人材投資資金を交付した。

引き続き、中核的農業者の育成、新規就農者確保及び就農後の支援に努める。

○ 鳥獣対策の推進

関係団体等と連携し、放棄果樹の伐採や追い払い、防護柵の設置等を実施するとともに、猟友会員を主とする「秦野市鳥獣被害対策実施隊」を通じて、銃器駆除、捕獲した鳥獣の止めさし、運搬及び処理を行い、農業者の負担軽減と捕獲体制の強化を図ることで、環境整備・防除・捕獲の3つを基本施策とした総合的な鳥獣対策を推進した。

また、里山に近く、鳥獣被害が特に多い3地域を選定し、ドローンを活用して各地域の実情に応じた重点対策事業を実施した。

引き続き、関係機関、団体及び農業者と連携し、鳥獣対策に努める。

○ 園芸の振興

地産地消のさらなる推進を図るため、地場産農産物の普及、宣伝や品質向上に取り組む団体の活動を支援するとともに、農家レストランの第1号店を認定した。

また、ジビエ利用試行事業として、「秦野産ジビエ」の流通を図った。

さらに、特産振興として、生産資材の導入費用に対して支援し、落花生の品質、収量及び栽培技術の向上を図った。

引き続き、地産地消の推進と特産振興に努める。

○ 畜産の振興

畜産業の振興を図り、継続的に営農できる環境を確保するため、畜産農家に対し、優良血統素畜及び受精卵購入等による優良家畜の導入育成並びに畜産施設等の衛生対策に対する支援に努めた。

引き続き、畜産経営の安定に向けた支援を行うとともに、地域住民と良好な関係を構築できるよう、畜産振興に努める。

○ 農とみどりの整備事業の推進

農業振興地域における農業基盤整備として、戸川地区及び柳川地区で、53メートルの農道を整備するとともに、柳川地区では、整備に向けた物件補償や用地取得を実施した。

引き続き、各地域における要望及び必要性を精査し、農地の積極的な利用促進とみどり豊かな潤いのある農業環境の創出に努める。

○ 里山保全再生事業の推進

県の水源環境保全・再生市町村補助金等を活用し、地域水源林内の間伐・枝打ち・下草刈り等の森林整備及び里地里山の保全・再生整備に対する助成を行うとともに、森林環境譲与税を活用し、鳥獣被害やナラ枯れ等の課題の解決に向けた里山林整備の調査を実施した。

引き続き、関係団体に対して助成を行うとともに、調査結果を基に、ナラ枯れ被害木の伐採や散策路のウッドチップ舗装等の里山林整備に取り組む。

○ 森林セラピー事業の推進

本市の地域資源である豊かな森林や里地里山の特徴を生かした森林セラピーイベントを開催するとともに、森林セラピーガイド研修会や資格取得補助を行い、人材の育成を図った。

引き続き、はだの表丹沢森林セラピー協議会や地元の里山団体などと連携してイベントの拡充や人材育成・管理を推進し、森林・観光・医療を通じた地域振興の実現に努める。

○ 地場産木材活用の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村ビレッジプラザの建築資材として提供した秦野産ヒノキ材を活用してベンチや記念ストラップを作成し、秦野産木材の認知度向上を図った。

引き続き、木材利用に対する意識啓発を図るとともに、秦野産木材の需要拡大及びブランド化を推進する。

(1) 農地利用調整経費

[農業委員会事務局]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
174,000	99,996	国庫		地方債		41,996
		県費	58,000	その他		

農地転用及び農地造成に対する指導を実施し、「農地法」に関する適切な事務処理及び農地の利用の最適化に努めた。

ア 農地に係る権利移動の状況

(ア) 耕作目的の売買・賃借 (3条許可)	16件	35,585 m ²
(イ) 市街化調整区域内の転用 (4・5条許可)	12件	20,764 m ²
(ウ) 市街化区域内の転用 (4・5条届出)	193件	84,839 m ²
(エ) 相続による届出 (3条の3届出)	68件	249,994 m ²
イ 相続税納税猶予の申請状況	9件	28,771 m ²
ウ 農地造成届出の状況	2件	668 m ²
エ 利用権設定状況	155筆	153,853 m ²

(2) 農政活動事務費

[農業委員会事務局]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
750,000	675,906	国庫		地方債		663,906
		県費	12,000	その他		

「農業委員会だより」を年3回発行し、農政事情、「農地法」及び農業者年金制度の周知、農業委員会活動の報告など、農業に関する情報の提供に努めた。

また、荒廃農地対策については、農地の適正管理指導を実施し、荒廃農地の発生防止・解消を図るとともに、農用地等の有効利用を進め、農地の流動化の促進に努めた。

・管理指導状況

単位：m²

地区	本町	南	東	北	大根	西	上	計
面積	70,011	66,894	102,605	73,195	13,915	94,697	126,914	548,231

(3) 農業経営基盤強化促進事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
4,000,313	3,537,000	国庫		地方債		1,898,000
		県費	1,639,000	その他		

効率的かつ安定的な農業経営者を育成するため、「農業経営改善計画」の認定（認定農業者）を行うとともに、新たに農業を営もうとする青年等の確保・育成を図るため、「青年等就農計画」を認定（認定新規就農者）した。

また、利用権設定等促進事業及び農地中間管理事業により、農地利用集積を推進したほか、本市農業をけん引する認定農業者組織が実施する農業経営基盤強化に資する取組に対し、助成した。

ア 農業経営改善計画の認定状況

- ・新規認定農業者数（再認定を含む。） 20人（19経営体）
- ・認定農業者数（令和4年3月末日現在） 88人（82経営体）

イ 青年等就農計画の認定状況

- ・新規認定者数 7人（7経営体）
- ・認定新規就農者数（令和4年3月末日現在） 15人（15経営体）

ウ 農用地利用集積事業による利用権設定状況

- ・利用権設定面積（更新分を含む。） 181,462.42 m²
- ・年度末利用権設定面積 712,982.69 m²

エ 認定農業者育成事業補助金

- ・補助団体 秦野市認定農業者協議会（会員数：101人、95経営体）
- ・補助概要 農業機械等の導入
- ・補助金額 1,455,000円

オ 農作物病害虫防除対策事業補助金

- ・補助団体 秦野市農業協同組合果樹部会茶業部
- ・補助概要 難防除害虫の面的防除対策の支援
- ・補助金額 443,000円

カ トップ経営体育成事業補助金

- 農業経営規模拡大に必要な農業用機械を導入する農業者に対し、県の補助金を活用して補助した。
- ・補助金額 1,639,000円

(4) 都市農業活性化推進事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
2,831,000	2,057,181	国庫		地方債	2,057,181
		県費		その他	

農業支援機能の一本化（ワンフロア化）を図った「はだの都市農業支援センター」を中心に、秦野市営農推進協議会による地区の営農状況や個別課題に応じた農業活性化方策の検討及び地域ぐるみの活動支援、都市型農業の特性を生かした「農」のあるまちづくりを推進した。

ア 地区営農推進協議会の開催による地域営農の活性化

市内7地区、農業委員会・秦野市農業協同組合理事・生産組合代表等で構成される地区営農推進協議会を新型コロナウイルスのため書面開催し、地区別課題の抽出、課題解決に向けた方策を検討した。

イ 営農活性化モデル事業（「農」のまちづくり事業補助金）

地域や集落における地域課題の解決及び地区営農の活性化のため、①観光農業（観光農園や体験型市民農園等、共同販売の実施）②農業生産の振興に関する活動（新たな特産農産物及び農産加工品づくり）を支援した。

- ・補助団体 秦野市営農推進協議会
- ・実施事業数 7事業（7団体）
- ・補助金額 650,000円

(5) 「農」の担い手育成支援事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
19,352,000	11,746,640	国庫		地方債	943,256
		県費	10,524,000	その他	

多様な農業の担い手を確保・育成するため、はだの市民農業塾を実施したほか、農業者団体が実施する農業者育成指導活動等に対し、補助した。

ア はだの市民農業塾

農業生産を担う人づくりを体系化した本市独自の担い手育成を確立するため、新規就農や農産加工など、農業への参画を希望する市民等を対象に、農業参画の目的に応じた3コースを設定した「はだの市民農業塾」を開催した。

- ・修了者数（受講者数） 25人（31人）
- ・研修実績

コース名	対象者	講座回数	修了者（受講者）
新規就農コース （上級・就農準備、 就農実践コース）	・研修修了後に市内で新たに農業者として営農を希望する方 ・定年帰農により農業を開始する農家後継者の方	1年目：全43回 2年目：全21回	3人（7人）
基礎セミナーコース （初級・座学のコース）	・農業に興味があり、基礎知識を習得したい方 ・家庭菜園や市民農園・さわやか農園等利用者又は利用希望者	全12回	14人（16人）
農産加工 セミナーコース	市内で農産加工品の製造販売をしたい方またはしている方	全8回	8人（8人）

※新規就農コース修了者3人が令和4年4月に新規就農した。

イ 農業者育成事業補助金

農業後継者の育成や交流事業に対して補助し、農業従事者の育成を図った。

- ・補助団体 秦野市農業経営士会（会員数：43人）
秦野市農業後継者クラブ秦友会（会員数：14人）
- ・補助金額 74,000円

ウ 農業次世代人材投資資金

県の補助金を活用し、本市農業における将来の中心的な担い手となる新規青年就農者に対し、就農直後の経営安定に向けた支援を実施した。

- ・補助対象者数 7人（7経営体）
- ・補助金額 10,500,000円

エ 新規就農者支援事業補助金

新規就農者の効率的かつ安定的な農業経営を図るため、耕運等に係る費用を補助した。

- ・補助団体 はだの市民農業塾就農者連絡協議会（会員数：40人）
- ・補助金額 46,000円

オ 機構集積協力金（経営転換協力金）

農地中間管理機構により転貸された農地所有者に対し、機構集積協力金を交付した。

- ・対象者数 3人
- ・対象面積 16a
- ・交付金額 24,000円

(6) 荒廃遊休農地等農地活用対策事業費

〔農業振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
1,975,687	1,540,760	国庫		地方債		1,540,760
		県費		その他		

荒廃遊休農地の解消を推進するため、農業委員会と連携し、広報はだのや農業委員会だよりを活用して制度の周知を図るとともに、荒廃遊休農地の情報収集に努めた。

また、県が実施する「かながわ農業サポーター事業」を周知し、新規就農者等担い手への農用地の利用集積に努めた。

(7) 多面的機能支払事業費

〔農業振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
2,064,000	2,040,811	国庫		地方債		478,454
		県費	1,562,357	その他		

県の補助金を活用し、市の認定に基づく農地の多面的機能（国土保全、水源かん養及び景観形成等）を支える共同活動を支援した。

- ・鶴巻地区 24.71ha 水路・農道等の維持補修、景観植栽の管理及び生態系の保全

(8) 野生鳥獣保護管理事業費

〔農業振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
6,045,000	5,935,344	国庫		地方債		3,127,344
		県費	2,808,000	その他		

生活被害や農業被害を引き起こしているニホンジカ・ニホンザル等野生鳥獣全般の被害軽減を図るとともに、生物多様性の確保など、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」及び「鳥獣被害防止計画」等に基づき、総合的な保護管理対策を実施した。

ア アライグマ防除事業

「アライグマ防除実施計画事業計画」に基づき、殺処分用炭酸ガス等を購入し、生き物の里や公園、河川等の緑地で計画的捕獲を実施してアライグマを26頭捕獲した。

イ 猿害防止対策事業

秦野・伊勢原ニホンザル広域対策協議会が実施する猿害防止対策事業（追い払い事業・管理捕獲事業）を支援した。

事業名	補助金額	実績
猿害防止対策事業補助金	5,526,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・追い払い事業 公益社団法人秦野市シルバー人材センターに鳥獣対策業務を委託。煙火・エアガンによるニホンザルの追い払い及びテレメトリーによるニホンザルの位置調査、わなの巡回点検を実施 ・管理捕獲事業 「秦野市わなパトロール隊」によるわなの巡回点検を実施

(9) 農作物被害防除事業費

〔農業振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
12,454,495	11,583,537	国庫		地方債	8,629,537
		県費	2,954,000	その他	

有害鳥獣による農作物被害を防止することにより、農業生産の安定と営農意欲の維持を図った。

ア 広域獣害防護柵等の維持管理

広域獣害防護柵に係る点検、改修及び原材料の購入等を実施

イ 有害鳥獣対策事業

- ・事業主体 秦野市農業協同組合

銃器・箱わな・くくりわなによる有害鳥獣駆除

駆除頭数 ニホンジカ 144頭、イノシシ 35頭、ハクビシン 61頭、
鳥類（カラス、スズメ等） 447羽

ウ 農作物被害防除事業

- ・事業主体 秦野市営農推進協議会

鳥獣による農作物被害を防止するための活動に必要な資材等を支援

実施数 1事業 鳥獣侵入防止用ステンレス入りネット柵設置

エ 秦野市鳥獣被害対策実施隊

6月1日付けで猟友会員55人を非常勤特別職職員として委嘱し、銃器による有害鳥獣駆除活動、農業者等が設置したわなで捕獲したニホンジカ・イノシシの止めさし及び現地調査等を実施した。

- ・銃器による有害鳥獣駆除 ニホンジカ14頭を捕獲

オ ドローンを活用した重点対策事業

波多川・欠畑、山谷、北矢名北部の3地域を重点取組地域に選定し、ドローンを活用して被害対策地図を作成するとともに、地域ごとに鳥獣被害対策勉強会を開催し、放置果樹の伐採等地域ぐるみの鳥獣被害対策を実施した。

カ 管理捕獲事業

秦野市営農推進協議会が実施する管理捕獲事業を支援した。

事業名	補助金額(円)	実績
野生鳥獣の管理捕獲事業補助金	4,647,000	<ul style="list-style-type: none"> ・広域獣害防護柵機能維持事業 広域獣害防護柵及び開口部の点検調査を委託し、51か所の軽易修繕を実施。また、倒木や土砂により破損した4か所の柵の再設置及び倒木除去による機能復旧工事を実施 ・管理捕獲事業 生き物の里や公園、河川等の緑地でのわな捕獲の推進 「秦野市わなパトロール隊」によるわなの巡回点検を実施し、ニホンジカ25頭、イノシシ1頭、ハクビシン16頭、カラス8羽を捕獲 ・ジビエ利用試行事業に活用できない捕獲個体の焼却処分 捕獲個体53頭の焼却処分を実施

キ 鳥獣被害緊急対策事業

地域ぐるみの鳥獣被害対策の取組を広げるとともに、野生鳥獣による被害の低減を図るため、県の補助金を活用し、蓑毛地域におけるやぶ化した荒廃農地の環境整備等を実施した。

- ・作業道整備 幅2m、延長約252m

- ・補助団体 秦野市営農推進協議会
- ・補助金額 2,000,000円

ク 狩猟免許（わな猟）更新事業費補助金

有害鳥獣による農作物の被害拡大を防ぐため、県の狩猟免許を取得してニホンジカ・イノシシの捕獲に従事する農家に対し、狩猟免許更新時の申請手数料を助成した。

- ・補助団体 秦野市農業協同組合（更新対象者 38人）
- ・補助金額 55,000円

(10) ヤマビル被害防止対策事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,636,000	1,221,000	国庫		地方債	814,000
		県費	407,000	その他	

県の補助金を活用し、農林・観光事業者や地域住民等が取り組む農地や住宅周辺のヤマビル生息地における環境整備活動等を支援し、ヤマビルによる吸血被害の防止と生息域の拡大防止、生息密度の低減を図った。

ア 生息数・密度調査 1回実施（4地区・10地点）

イ ヤマビル被害防止対策環境整備活動費補助金

地域住民及び観光事業者等が取り組むヤマビル生息地での環境整備活動（草刈り、落葉かき、殺ヒル剤の散布等）を支援した。

交付先	補助金額(円)	実績
秦野市営農推進協議会	1,091,000	16団体（生産組合等）
丹沢山小屋組合	110,000	戸川林道、滝沢園、鍋割山

(11) 農業振興資金等利子補給金

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
232,000	161,806	国庫		地方債	161,806
		県費		その他	

農業経営の合理化及び近代化を目的に、農業者が借り受けている農業資金及び農業経営基盤強化資金の利子負担を軽減するため、支払利子の一部を助成した。

対象資金	対象件数(件)	事業費(円)	補助金額(円)
農業資金	59	469,356	152,900
農業経営基盤強化資金	2	21,312	8,906
計	61	490,668	161,806

(12) 農産物品評会事業交付金

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
500,000	416,336	国庫		地方債	416,336
		県費		その他	

農業者の生産意欲を高めるとともに、生産者と消費者の相互理解を深めるため、農産物品評会を実施する実行委員会を支援した。

- ・交付先 秦野市農産物品評会実行委員会
- ・開催日 11月18日(新型コロナウイルス対策のため審査のみ実施)
- ・会場 秦野市農業協同組合本所 虹の間、百合の間
- ・出品点数 213点(うち優秀賞20点、優良賞30点、佳良賞30点)

(13) 田原ふるさと公園管理運営費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
31,039,505	10,601,814	国庫		地方債	8,167,519
		県費	917,000	その他 1,517,295	

田原ふるさと公園の管理運営及びふるさと伝承館で実施している農産物の直売等を通して、都市住民との交流を促進した。

また、田原ふるさと公園の魅力を向上するために整備する半屋外の販売・休憩施設に係る実施設計を実施した。

ア 延べ来客者数

直売施設	そば施設	そば打ち体験	計
51,736人	16,085人	96人	67,917人

イ 施設管理費等

- ・施設用地賃借料(面積 7,132m²) 2,567,520円
- ・施設管理委託料等 2,347,105円
- ・施設維持管理費用(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等) 3,922,789円

ウ 販売・休憩施設実施設計等委託料 1,764,400円

(14) 経営所得安定対策事務補助金

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
150,000	150,000	国庫		地方債	
		県費	150,000	その他	

「秦野市農業再生協議会」が主体となって実施している県の補助金を活用した経営所得安定対策交付金事業に対し、関係機関と連携して支援した。

- ・交付者数 30人
- ・経営所得安定対策交付金 9,660,764円 (内訳) 水田活用交付金 2,103,794円
畑作物交付金 7,556,970円

(15) 観光農業推進事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
75,000	55,000	国庫		地方債	55,000
		県費		その他	

ブルーベリー摘み取り農園のイベント情報サイト「RareA」の更新・掲載に係る費用を負担し、観光農業の活性化を図った。

(16) 地産地消推進事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
974,000	717,300	国庫		地方債	717,300
		県費		その他	

各種啓発活動の実施や地産地消活動に取り組む団体への支援を通じて、農業、消費者、商業、観光、食育、健康等の関係者が一体となった幅広い「地産地消」の推進を図るとともに、農家レストランの第1号店を認定した。

また、捕獲した鳥獣の利活用を図るため、ジビエ利用試行事業として、市外のジビエ処理加工施設や市内の精肉店の協力のもと、「秦野産ジビエ」の流通を図った。

- ・地産地消推進部会の開催
- ・はだの産農産物応援サポーター登録状況 50 事業所
- ・地産地消推進活動支援事業補助金 3 団体 300,000 円
- ・ジビエ処理加工委託業務 2 施設 30 頭搬入
- ・ジビエ利用試行事業に係るアンケートの実施

(17) 農産物ブランド化推進事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
418,000	387,493	国庫		地方債	387,493
		県費		その他	

安全・安心かつ高品質な地場産農産物を認証する「秦野優良農産物等認証制度」を実施することにより、地場産農産物の付加価値化及び安定的供給を図った。

また、GAP 取得者に対して更新に係る費用を補助した。

- ・地産地消推進部会の連絡調整
- ・残留農薬検査の実施
- ・優良農産物等認証シールの配付
- ・GAP 取得支援事業補助金 1 人 47,000 円

(18) 秦野落花生生産支援事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
7,288,000	6,751,420	国庫		地方債	6,751,420
		県費		その他	

本市を代表する特産農産物である落花生の品質の向上及び収量の確保並びに生産技術の向上に向けた取組に対し、支援した。

- ・補助団体 秦野市農業協同組合、秦野市落花生生産者連絡協議会、はだの市民農業塾就農者連絡協議会
- ・事業内容 品質向上及び増収に係る生産資材等の導入に要する経費の助成
- ・補助金額 6,744,000円

(19) 乳用子牛育成預託事業補助金

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
2,250,000	2,250,000	国庫		地方債	2,250,000
		県費		その他	

後継牛の確保と産乳性の高い乳用子牛を育成して酪農経営の安定を図るため、育成環境に恵まれた牧場への預託経費に対し、補助した。

- ・事業主体 秦野市農業協同組合畜産部会
- ・預託頭数 199頭
- ・預託日数 延べ39,661日
- ・預託先 県酪連牧場ほか

(20) 畜産活性化支援事業補助金

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,300,000	1,300,000	国庫		地方債	1,300,000
		県費		その他	

食の安全確保に向けた家畜等の防疫、衛生対策を総合的に講じ、畜産業の活性化と消費者ニーズに基づく畜産物の安全確保を図るための経費に対し、補助した。

ア 事業主体 秦野市畜産会

イ 事業内容

(ア) 優良家畜導入育成事業

優良血統素畜及び受精卵購入等による優良家畜の導入育成に係る経費の一部を補助した。

(イ) 畜産施設等衛生対策事業

家畜伝染病等の発生を防止するため、各種予防接種による衛生対策に係る経費の一部を補助した。

(21) 畜産環境衛生対策事業費

〔農業振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
1,165,000	870,450	国庫		地方債		870,450
		県費		その他		

本市の重要産業の一つである畜産業の振興を図り、継続的に営農できる環境を確保するため、臭気測定を実施するとともに、畜産農家が臭気対策として実施する消臭資機材等の購入経費に対し、補助した。

また、畜産経営における衛生管理の徹底による家畜伝染病の発生予防を図るため、畜産農家が実施する畜舎等の消毒及び害虫の駆除に要する経費に対し、補助した。

ア 臭気測定委託

- ・臭気測定地区及び測定回数 今泉地区6回、南が丘地区3回
- ・委託料 178,200円

イ 臭気対策事業

- ・事業主体 畜産事業者2者
- ・事業内容 消臭剤等の導入に係る経費の一部を助成した。
- ・補助金額 224,000円

ウ 衛生対策事業

- ・事業主体 秦野市農業協同組合畜産部会
- ・事業内容 畜舎や家畜等の消毒資材及びウイルス等の媒介役となる害虫の駆除に要する経費の一部を助成した。
- ・補助金額 350,000円

(22) 用水路補修事業費

〔農業振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
4,434,000	4,370,690	国庫		地方債		4,370,690
		県費		その他		

小規模な用排水路の整備や維持補修工事、地元への原材料支給等を実施した。

- ・委託料 上大槻花ノ木用水路清掃など4件 594,000円
- ・機械借上料 金目川中里取水口補修など5件 814,000円
- ・水路補修工事 西田原清水用水路など6件 2,493,700円
- ・原材料費 御門水利組合など4団体 466,950円
- ・保険料 水路賠償責任保険 2,040円

(23) 農道補修事業費

〔農業振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
6,993,940	6,764,504	国庫		地方債		6,764,504
		県費		その他		

小規模な農道の整備や維持補修工事、地元への原材料支給等を実施した。

・委託料	北西農免農道清掃委託など4件	538,450円
・機械借上料	三廻部宮ノ上農道補修など3件	616,000円
・農道補修工事	西田原吹上農道など9件	3,694,350円
・原材料費	栃窪生産組合など7団体	1,899,964円
・その他	消耗品 道路賠償責任保険	15,740円

(24) 農とみどりの整備事業費

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
28,972,000	24,790,382	国庫		地方債	13,413,382
		県費	11,377,000	その他	

県の補助金を活用し、戸川地区及び柳川地区の農道を整備するとともに、柳川地区では整備に向けた物件補償や用地取得を実施した。

・委託料	柳川地区農道（実施設計）	3,740,000円
・公有財産購入費	柳川地区農道	179,242円
・補償、補填及び賠償金	柳川地区農道	6,163,480円
・農道整備工事		

工事箇所	整備内容	延長 (m)	工事費 (円)
戸川地区	農道整備（排水、擁壁、舗装）	33	11,159,500
柳川地区	農道整備（擁壁）	20	3,548,160
計		53	14,707,660

(25) 農地災害復旧工事補助金

[農業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
16,336,000	4,438,000	国庫		地方債	4,438,000
		県費		その他	

7月の豪雨により被害を受けた農地等の復旧を行う農地所有者等に対し、補助した。

・復旧完了箇所	44か所
・補助金額	4,438,000円

(26) 造林補助事業補助金

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,811,000	1,811,000	国庫		地方債	906,000
		県費		その他 905,000	

森林組合が行う1施行地0.1ha以上（ただし、保安林等は0.05ha以上）の森林整備（下刈り・間伐等）の経費に対し、県の補助金（補助率1/2以内）に上乗せして補助した。

事業主体	秦野市森林組合	
事業内容	下刈り	植生保護柵
補助率	1.5/10以内	
整備面積等	18.38ha	843m
補助金額	1,219,000円	592,000円

(27) 民有林整備活用事業補助金

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
2,852,000	2,852,000	国庫		地方債	1,426,000
		県費		その他	

県の造林補助事業の対象とならない0.1ha以上1.0ha未満の零細な森林を対象として、森林組合等が行う森林整備（下刈り）に対し、補助した。

また、間伐実施事業地から生産された素材を対象に、事業地から県内の最寄りの木材市場又は製材所までの集運に要する経費に対し、補助した。

事業主体	秦野市森林組合等	
事業内容	下刈り	間伐材搬出
補助率	6.5/10以内	1,000円/m ³ 以内
整備面積等	1.14ha	2,625.578m ³
補助金額	335,000円	2,517,000円

(28) 水源の森林づくり事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
11,743,000	9,813,720	国庫		地方債	
		県費	9,773,000	その他	

県の水源の森林づくり事業の実施に伴い、水源の森林エリア内で森林所有者と本市が「協力協約」を締結した森林整備（枝打ち・間伐等）に対し、必要な経費を補助した。

事業主体	秦野市森林組合等	
事業内容	高齢級木の枝打ち・間伐	水源林管理道
補助率	9/10以内	
整備面積等	間伐 5.65ha 枝打ち 6.28ha	570.21m
補助金額	6,265,000円	3,438,000円

(29) 里山ふれあいの森づくり事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
7,667,000	5,531,000	国庫		地方債	575,947
		県費	4,955,053	その他	

県の補助金を活用し、手入れがされず放置された里山の雑木林の枝打ち、間伐等の森林整備や竹林整備を行うとともに、自然とのふれあいや森林・林業に対する理解を深める活動をしている団体及び荒廃農地を保全再生する団体に対し、補助した。

- ・団体数 29団体
- ・整備面積 里山 31.35ha（うち竹林1.55ha） 里地 3.73ha

(30) 里山保全再生事業費（地域連携計画事業費）

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
453,000	184,388	国庫		地方債		168,388
		県費		その他	16,000	

環境省が平成19年度まで実施した「里地里山保全再生モデル事業」による市民参加の活動実績を引き継ぎ、ボランティア等と連携して里地里山の整備を実施するとともに、里地里山の保全整備に必要な基本的な知識や作業方法を学ぶ「里山ボランティア養成研修」を開催した。

(31) ふるさと里山整備事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
53,894,000	41,928,947	国庫		地方債		5,060,000
		県費	36,868,947	その他		

荒廃化しつつある森林の多面的機能の回復を図るため、県の補助金を活用し、枝打ち、間伐等により、里山林を整備した。

また、里山林のナラ枯れ被害等の森林状況を調査した。

- ・森林整備 21.66ha（3件）
- ・森林調査 20.49ha（2件）
- ・里山林調査 19.80ha（1件）

(32) 地域水源林長期施業受委託事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
73,150,000	73,150,000	国庫		地方債		
		県費	73,150,000	その他		

施業の集約化及び適切な森林整備を行い、森林の持つ水源かん養等の公益的機能を高度に発揮させることを目的として、県の補助金を活用し、事業者が森林所有者と受委託契約を締結した人工林の確保、整備及び管理事業に対し、補助した。

- ア 確保事業 契約締結 1契約
- 区域測量等 3.86km
- 森林調査 4.58ha

イ 整備事業	森林整備（間伐、枝打ち等）	34.13ha
	森林機能回復（丸太柵工）	12.0m
	作業路整備（砂利敷工）	4,777.7m
ウ 管理事業	森林巡視等	135.47ha

(33) 森林セラピー推進事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
2,419,000	2,150,590	国庫		地方債		2,095,390
		県費		その他	55,200	

森林、里地里山等を総合的に活用し、森林、観光及び医療の連携を通じた地域振興を図るために設立した「はだの表丹沢森林セラピー協議会」により、森林セラピーガイドなどの人材の管理・育成や、各コースの特徴を生かしたイベントを実施した。

ア 森林セラピーガイドなどの人材の管理・育成

- (ア) 名簿登録者 14人
- (イ) 資格取得補助 1件
- (ウ) 研修会 2回

イ 森林セラピーイベント 22回 参加者数 延べ309人

- (ア) 秦野戸川公園・風の吊り橋コース 4回 参加者数 40人
- (イ) 表丹沢野外活動センター・葛葉の泉コース 4回 参加者数 56人
- (ウ) 蓑毛・春嶽湧水コース 4回 参加者数 79人
- (エ) くずは峡谷コース 1回 参加者数 12人
- (オ) 弘法山公園コース 3回 参加者数 39人
- (カ) その他（ヤビツ峠周辺ほか）6回 参加者数 83人

(34) 林道整備事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
6,600,000	6,592,300	国庫		地方債		
		県費	2,162,000	その他	4,430,300	

利用度の高い既設林道の舗装整備等により、森林施業の効率化を図った。

- ・六本松林道整備工事（コンクリート舗装工=597m²）

(35) 林道補修事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
8,189,000	7,656,132	国庫		地方債		2,430,472
		県費		その他	5,225,660	

既設林道の破損箇所や車両の運行の支障となっている場所等を補修し、林業関係車両の安全確保及び林道の維持管理に努めた。

- ・機械借上料 羽根林道 550,000 円
- ・補修工事 向山林道ほか 6,842,660 円
- ・原材料費 263,472 円

(36) 森林ふれあい事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
557,000	206,626	国庫		地方債		206,626
		県費		その他		

市民が森林及び林業の大切さを学び、森林への関心を高めるための啓発事業を実施した。

- ・木工・工芸作品展 応募作品 19点
- ・秦野の里地里山フォトコンテスト 応募作品 60点
- ・北小学校森林体験学習 参加者数 125人
- ・本町小学校森林整備見学会 参加者数 35人

(37) 里山ふれあいセンター管理運営費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
7,534,000	7,482,318	国庫		地方債		7,482,318
		県費		その他		

地域林業の活動の拠点である里山ふれあいセンターについて、平成19年度から秦野市森林組合を指定管理者に指定し、施設の運営及び維持管理を実施するとともに、森林及び林業に関する専門的な知識を生かし、市民を対象とした林業体験、木工教室等の自主事業を開催して森林に対する普及啓発に努めた。

部屋名	開館日数(日)	延べ利用者数(人)
研修室	313	803
木工室	313	1,150
その他	313	1,181
計	—	3,134

(38) 地場産木材活用推進事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
4,045,000	3,520,334	国庫		地方債		189,204
		県費		その他	3,331,130	

秦野産材の利用促進と森林環境教育の一環として実施している秦野産ヒノキを使用した学習機の補修、交換を実施した。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会選手村ビレッジプラザの建築資材として提供した秦野産ヒノキ材を活用し、公民館とメタックス体育館はだのにベンチを設置するとともに、北小・中学校の児童生徒に記念ストラップを製作し、配布した。

(39) 快適な住まいづくり（秦野産材住宅支援）事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,580,000	1,538,000	国庫		地方債	1,538,000
		県費		その他	

秦野産材の消費及び市内中小企業の支援と地域経済の活性化を図るため、市内施工業者の利用による秦野産材を使用した住宅の新築に対し、その経費の一部を補助した。

補助の内容	補助件数	補助金額
秦野産材を使用した新築	4件	1,538,000円

(40) 市民による森林づくり事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,121,000	857,571	国庫		地方債	857,571
		県費		その他	

平成 22 年度に開催した全国植樹祭後も、秦野らしい森林づくりを進めるために設立した「市民による森林づくり実行委員会」により、市民主体の植樹、育樹、活樹事業を実施した。

ア 植樹事業

- ・第 13 回秦野市植樹祭（新東名高速道路新秦野 IC 付近）

実施日 10 月 23 日 参加者数 155 人

イ 育樹事業

- ・県民参加の森林づくり（除伐、下草刈り）頭高山

実施日 11 月 28 日 参加者数 79 人

ウ 活樹事業

- ・イベント（植樹祭、森林セラピー等）での啓発事業
- ・春のはだの桜キャンペーン 2022（お花見タクシー）への秦野産材記念乗車券の提供

(41) 病虫害防除事業費

[森林ふれあい課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,259,000	1,251,954	国庫		地方債	1,251,954
		県費		その他	

森林病虫害による被害のうち、カシノナガキクイムシを媒介とするナラ菌によるナラ枯れ被害を防除するため、倒木した際の危険度が高い木を優先して伐採した。

(6) 商工費

○ にぎわいと活力ある商業の振興

新型感染症と共存し、にぎわいと活力ある商業の振興を図るため、魅力ある店舗の新規出店を促進するとともに、新しい生活様式に対応するための改装等を支援した。

引き続き、まちのにぎわい創出、商業の振興に必要な支援の実施について検討する。

○ 活力ある工業の振興

中小企業の事業継続を後押しするため、秦野市中小企業事業資金及び神奈川県中小企業制度等の融資を利用した事業者に対し、支払った利子及び信用保証料に対する支援を行った。

また、中小企業の新たなビジネスチャレンジを促進するため、商工会議所、金融機関と連携し、新製品や新技術の研究開発費に対する支援を行った。

引き続き、本市の活力ある工業の振興を図るため、必要な企業支援を実施する。

○ コロナ禍における地域経済対策

新型感染症の影響を受ける地域経済を下支えするため、関係機関と連携し、市内で食事や買物をした市民等を対象に、クーポン券を発行することにより、市内の消費を喚起し、地域経済の活性化を図った。

さらに、国や県の施策の狭間で支援を受けられない小規模事業者を対象に、給付金事業を実施するなど、適時適切に経済対策を実施した。

○ 求職者に寄り添った就労支援

求職者に対して個別の事情に寄り添い、円滑な就職を支援するため、秦野市ふるさとハローワークをはじめとする関係機関と連携し、個別カウンセリングや就職支援講座などを実施した。

引き続き、松田公共職業安定所や神奈川労働局、県等の関係機関と連携し、地域雇用の促進と就業機会の確保に努める。

○ 桜を活用した誘客の促進

桜の名所であるカルチャーパーク前みずなし川緑地桜並木のライトアップを全長約1キロメートルにわたり実施した。

また、観光地であるヤビツ峠と頭高山へ新たに八重桜を植樹するとともに、弘法山公園のソメイヨシノの適正な維持管理により、桜咲く秦野

盆地の魅力を市内外へ発信し、誘客を促進した。

引き続き、多くの方に来訪していただけるよう、本市が誇る観光資源の一つである桜の健全な育成に取り組む。

○ 大山と鶴巻温泉を結ぶバス運行と地域の連携によるにぎわい創造

秋の登山シーズンに合わせ、大山と鶴巻温泉駅を結ぶ路線バスを運行するとともに、はだのふるさと大使を起用した車内音声アナウンスにより、鶴巻温泉地域の観光情報を発信した。

また、観光地や周辺商店への回遊性を高めるためスタンプラリーを実施した。

さらに、バス運行に合わせ、「ジビエの食べられる街鶴巻温泉」を、地元商店会と連携したイベントの開催やチラシ、ポスターへの掲載により、市内外へ発信した。

引き続き、路線バス運行の定着化を図るとともに、商店会、自治会、温泉組合等と連携し、鶴巻温泉駅周辺のにぎわい創出を図っていく。

○ 震生湖周辺整備の推進

令和5年9月に誕生から100年を迎える震生湖において、来訪者が湖畔から見る四季折々の風景を楽しめるよう、令和元年度から取り組んでいる湖畔散策道の整備について、階段やボードウォークの設置、ウッドチップ舗装を実施した。これにより本市域側の散策道の整備が完了した。

引き続き、歴史的な震災遺構としての魅力を向上させるための環境整備に取り組む。

○ ヤビツ峠レストハウスを核とした地域活性化

本市を代表する観光資源の一つであるヤビツ峠に整備した「ヤビツ峠レストハウス」を拠点とし、イベントの開催やSNS、著名人による広報宣伝を実施した。

また、観光客の利便性向上を図るため、レストハウスへの階段に手すりを設置するとともに、ウッドチップ舗装を実施した。

引き続き、レストハウスの運営者と連携し、ヤビツ峠の魅力を発信することで、地域の観光客数及び観光消費額の増加を図る。

○ 大倉高原テントサイトの魅力向上

老朽化した建物を解体するとともに、水場を整備するため、配水管を修繕した。

また、既存の山岳公衆トイレを環境配慮型山岳公衆トイレに転換した。
引き続き、表丹沢の登山道沿いにある唯一のテントサイトの魅力を生かした拠点づくりを進める。

○ 表丹沢の魅力づくりの推進

「表丹沢魅力づくり構想」の推進のため、表丹沢を「都心から近い山岳・里山アクティビティの聖地」としてブランド化する取組として、ロゴマーク「OMOTAN」の開発や、表丹沢ツーリズム（仮称）と表丹沢総合ホームページの構築に向けた検討を進めた。

引き続き、構想に掲げる取組事例を着実に推進することで、表丹沢の更なる魅力向上に努める。

○ 渋沢丘陵の利活用による駅周辺のにぎわい創造

持続可能なまちづくりを実現するため、渋沢丘陵とその周辺にある様々な地域資源や取組を効果的に活用・連携させ、地域の活性化につなげる「渋沢丘陵利活用方針」を策定した。

この方針に基づき、引き続き、秦野駅及び渋沢駅周辺のにぎわい創造に取り組む。

(1) 中小企業融資資金預託金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
220,000,000	186,000,000	国庫		地方債	
		県費		その他	186,000,000

市内中小企業の近代化及び経営基盤の確立を図るため、取扱金融機関に資金を預託し、中小企業の事業活動に必要な資金融資の円滑化に努めた。

- ・融資残高 50件 459,668,000円
- ・融資状況 6件 93,880,000円
- ・融資条件 限度額 目的に応じ5,000万円
期間 目的に応じ5年・6年・7年・10年以内
利率 目的・期間に応じ年1.8%・2.0%・2.2%以内（令和4年3月末日現在）

(2) 市営駐車場運営費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
15,259,000	15,135,715	国庫		地方債	
		県費		その他	13,557,450

地域商業の振興及び消費者の利便性を図るため、市営駐車場の円滑な運営に努めた。

・駐車場の概要

区分	駐車台数	駐車方法等	駐車料金	延べ利用台数
渋沢駅北口	36台	無人自動ゲート式 24時間営業	30分ごとに100円	37,029台
片町	41台 (一部定期利用有)		午後10時から翌日午前8時までは1時間ごとに100円	19,682台

(3) 優良店舗及び優良工場等表彰事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
188,000	121,717	国庫		地方債	
		県費		その他	121,717

経営及び技術向上を図るため、経営の合理化、近代化、生産販売技術等で模範となる店舗及び工場並びに技能の練磨に努め、中小企業の振興・発展に寄与した者を表彰した。

優良店舗	優良工場	技能功労者	優良技能者
2店舗	2工場	5人	6人

(4) 商店街空き店舗等活用事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
7,534,000	6,478,068	国庫		地方債		6,478,068
		県費		その他		

商店街の空洞化を防止し、活性化を図るため、商店街区域内にある空き店舗を活用して開業した商業者に対し、経費の一部を補助するとともに、新しい生活様式に対応するための支援を拡充した。

また、経営の安定化を支援するため、開店後一定期間を経過した店舗への経営診断を実施した。

- ・補助実績 新規5店舗 3,452,000円
(賃借料5件、改装費5件、広告宣伝費5件)
- 継続12店舗 2,637,000円

(5) 児童生徒創意工夫展覧会経費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
99,000	79,370	国庫		地方債		79,370
		県費		その他		

青少年の創作意欲と科学心の高揚を図り、次代の産業の担い手を育成するため、市内小・中学校の児童生徒から創意工夫作品を募集し、第54回児童生徒創意工夫展覧会を開催した。

- ・実施日 9月25日～26日
- ・出品数 小学生30点 中学生8点 計38点
- ・入賞数 最優秀賞1点 優秀賞3点 優良賞7点
※入賞11点を県青少年創意くふう展覧会に出品し、優良賞2点を受賞した。

(6) 商店街街路灯等維持管理費補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
5,191,000	4,056,000	国庫		地方債		4,056,000
		県費		その他		

商店街の活性化を図るため、商店街団体が管理する街路灯等の維持管理費の一部に対し、補助した。

・補助実績

対象団体	補助内容	補助金額(円)		
19団体	街路灯等 741基・1,522灯	電気料	保険料	修繕費
		3,574,000	394,000	88,000

(7) 商店街駐車場管理運営費補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
500,000	500,000	国庫		地方債		500,000
		県費		その他		

商業振興を図るため、商店街団体が顧客のために設置した駐車場の管理運営費の一部に対し、補助した。

- ・補助実績 渋沢駅前商店会（14台）500,000円

(8) 商業活性化事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
18,229,000	8,215,484	国庫		地方債		8,215,484
		県費		その他		

新型コロナウイルスの影響により低迷した地域消費の回復と商店街の活性化を図るため、第2弾はだの元気プロジェクト！地元応援お食事・お買物クーポン券事業に合わせて、商店街団体等が販売促進のために実施したイベントの事業費に対する支援を拡充した。

また、商店街の活性化を図るためのイベント情報や商店街の情報を積極的に発信するため、専用のWEBサイトを運営した。

ア 販売促進事業の補助実績

補助対象団体	事業数	補助金額
12団体	40事業	6,180,000円

イ ハダ恋にぎわい商店街事業

- ・WEBサイト閲覧数 244,640pv
- ・イベントページ内で延べ19商店会、415店舗紹介

(9) 商業施設建築資金利子補給金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
455,000	444,500	国庫		地方債		444,500
		県費		その他		

鶴巻温泉駅南口周辺地区沿道整備土地区画整理事業の区域内の土地又は神奈川県が施行する県道705号道路整備事業の施行区域に面する一定の土地において、魅力ある商業地を形成し、商業施設の充実と振興を図るため、商業施設の建築に伴う借入金に係る支払利子の一部を助成した。

- ・補助実績 6人 444,500円

(10) 工業活性化事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
1,212,000	912,000	国庫		地方債		912,000
		県費		その他		

市内企業の製品・技術を広く紹介するため、オンラインで実施された工業技術製品の総合見本市「テクニカルショウヨコハマ」の出展ページを使用することにより、商談機会を設け、新規取引先の獲得を支援した。

- ・実施日 令和4年2月2日～10日
- ・出展企業数 11社

(11) 中小企業新製品・新技術開発等奨励補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
900,000	432,700	国庫		地方債		432,700
		県費		その他		

新型感染症が拡大する中、受注機会の促進につなげるため、新しい生活様式に対応した製品や技術の開発など、新たな事業に挑戦する中小企業者に対し、補助した。

- ・補助実績 3件 432,700円

(12) 中小企業信用保証料補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
5,950,000	3,398,800	国庫		地方債		3,398,800
		県費		その他		

信用保証協会の保証付けで市又は県の融資制度による資金を借り入れた中小企業に対し、支払保証料の全額（限度額5万円）を補助した。

- ・補助実績 86件 3,398,800円

(13) 中小企業融資資金利子補給金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
68,200,000	53,182,500	国庫		地方債		53,182,500
		県費		その他		

秦野市中小企業事業資金、県新型コロナウイルス関連融資及び経営安定資金等の利用者に対し、支払利子の一部を助成した。

- ・補給実績（新型コロナウイルス関連融資を含む。）

新 規		継 続		計	
件 数	補 給 金 額	件 数	補 給 金 額	件 数	補 給 金 額
206 件	18,593,900 円	342 件	34,588,600 円	548 件	53,182,500 円

- ・うち、新型コロナウイルス関連融資に対する補給実績

件 数	補 給 金 額
148 件	15,364,800 円

(14) 秦野商工会議所小規模事業支援事業補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
11,071,000	11,071,000	国庫		地方債	11,071,000
		県費		その他	

秦野商工会議所が実施する中小企業相談事業に対し、補助した。

- ・補助実績 11,071,000 円（巡回、窓口指導件数 2,323 件）

(15) 地域ブランド等育成事業費

[はだの魅力づくり推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
4,263,000	3,703,682	国庫		地方債	3,703,682
		県費		その他	

はだのブランドを活用して本市の魅力を全国にPRし、地域経済の活性化を図るため、はだのブランド推進協議会に対し、補助した。

ア ブランド認証

本市ならではの魅力ある商品やサービス等を「はだのブランド」として認証するための第10回認証審査会及び推進協議会による審査等を実施した。

- ・新規申請件数 4 点（全て認証）
- ・更新申請件数 10 点（全て認証）

イ 日帰りバスツアー

秦野のブランド価値を高めるため、はだのブランド認証品をはじめとする地域資源（農商工業・観光資源・森林・秦野名水・文化財等）を活用した「ハダ恋みつけもんの旅」を実施した。

- ・開催回数 3 回
- ・参加者数 延べ 113 人（うち市外 109 人）

(16) 中小企業人材育成事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
2,020,000	985,000	国庫		地方債	985,000
		県費		その他	

中小企業の経営管理能力や技術力の強化を支援するため、経営講座を開催するとともに、中小企業が実施する人材育成事業に対し、補助した。

ア 工業経営講座

- ・実施日 11月25日
- ・実施内容 「中小企業のためのカーボンニュートラル入門～地球温暖化を巡り、何が起きているか？我々は何をすべきなのか～」
- ・受講者数 34人

イ 人材育成事業補助金

- ・補助実績 51件(18社) 935,000円

(17) 商店街後継者等育成事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
400,000	66,000	国庫		地方債		66,000
		県費		その他		

これからの秦野の商業を担う若手事業者の育成や魅力ある個店づくりのため、秦野商工会議所に委託し、はだの商人塾経営講座を開催することで、事業者としての資質向上を図った。

- ・はだの商人塾経営講座
実施日等 10月28日「明日から実践できる！Google マイビジネス運用入門講座」
参加者数 10人

(18) 商人魂お役立講座事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
373,000	370,193	国庫		地方債		370,193
		県費		その他		

商店主が講師となり講座を開催することで、個店の専門性や対面販売などの大型店にはない魅力を消費者にPRし、商店街の活性化を図った。

- ・通年開催 59講座
- ・参加者数 延べ147人

(19) 商店街店舗魅力アップ事業補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
14,032,000	10,847,000	国庫		地方債		10,847,000
		県費		その他		

事業者の経営意欲・事業継続意欲の向上及び円滑な事業継承の促進と、商店街のにぎわい創造を図るため、店舗の魅力づくりを行う市内中小企業者を対象に、備品購入又は改装に係る経費の一部を補助した。

また、市内の商店街店舗の集客力の向上及び商店街のにぎわい創造を図るため、秦野商工会議所が行う商店街魅力づくり事業に補助した。

- ・補助実績 店舗の魅力づくり 16 店舗（備品購入7件、改装13件）
商店街魅力づくり事業 秦野商工会議所（第6回はだのにぎわいランチフェスティバル、はだのLINE でつながるキャンペーン）

(20) 消費者応援・地域消費喚起事業費（繰越明許分を含む。）

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
570,993,000	552,710,383	国庫	522,132,303	地方債		
		県費		その他	30,578,080	

新型コロナウイルスの影響により、需要が減少した市内消費の回復を図るため、秦野商工会議所を中心とした実行委員会が行う消費喚起事業（はだの元気プロジェクト！地元応援お食事・お買物クーポン券事業）に対し、補助した。

- ・換金総額 第1弾 216,815,000円
第2弾 232,705,000円 ※プレミアム率はともに40%
- ・発行額面 500円券4枚綴り（2,000円）
- ・利用期間 第1弾 5月17日～令和4年2月15日
第2弾 11月11日～令和4年2月15日

(21) 個人事業者等支援給付金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
71,700,000	40,425,627	国庫	40,355,432	地方債		70,195
		県費		その他		

新型コロナウイルスの影響を受けた市内の小規模事業者のうち、事業収入の減少額及び減少率が一定の要件を満たした者に対し、事業継続を支援するための給付金を交付した。

- ・交付実績 395件 39,500,000円

(22) 労働者福祉資金預託金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
40,000,000	40,000,000	国庫		地方債		
		県費		その他	40,000,000	

労働者の資金需要に応えるため、中央労働金庫に資金を預託し、労働者の生活資金や住宅資金の貸出しによる生活の安定と向上を図った。

- ・融資残高 8,772件 22,590,221千円
- ・融資状況 332件 2,620,406千円
- ・償還状況 320件 2,289,434千円

(23) 労働者生活資金預託金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
50,000,000	50,000,000	国庫		地方債	
		県費		その他	50,000,000

労働者の家屋修繕費など、臨時的な資金需要に応えるため、中央労働金庫と提携し、低利な生活資金の融資を行い、生活の安定と向上を図った。

- ・融資残高 19件 11,494,930円
- ・償還状況 12件 7,411,244円
- ・融資利率 目的に応じ1.00～2.00%（令和4年3月末日現在）

(24) 労働者福祉対策事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,132,000	532,150	国庫		地方債	
		県費		その他	532,150

労働者の勤労意欲や福祉の向上を図るため、優良従業員を表彰した。

また、県や労働関係団体との連携により、労働講座、街頭労働相談会及び文化体育事業を開催し、労働問題に関する理解、労働者の健康増進等の向上を図った。

ア 表彰

- ・受賞者数 優良従業員 50人

イ 労働講座

- ・実施日 令和4年3月3日、3月7日
- ・実施内容 「コロナ禍による働き方の多様化等への対応」、「最近の法改正等への対応」
- ・受講者数 32人

ウ 街頭労働相談会

- ・実施日 7月20日（相談者数15人）

エ 労働者文化体育事業

- ・実施日 12月18日 うどんリモート手作り体験（参加者数39組）
- ・実施月 12月 新江ノ島水族館チケット斡旋（参加者数1,018人）

(25) 中小企業退職金共済制度奨励補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
10,540,000	10,540,000	国庫		地方債	
		県費		その他	10,540,000

中小企業従業員の福祉向上を図るため、中小企業退職金共済制度及び特定退職金共済制度に加入している中小企業が負担する共済掛金を補助した。

- ・補助実績 210件（対象者数1,506人）

(26) 障害者雇用奨励補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
5,040,000	4,668,000	国庫		地方債	4,668,000
		県費		その他	

障害者雇用の安定と促進を図るため、障害者を雇用する中小企業に対し、補助した。

・補助実績 23件 (対象者数 43人)

新規		継続		計	
人数	金額	人数	金額	人数	金額
5人	534,000円	38人	4,134,000円	43人	4,668,000円

(27) 中小企業福利厚生向上事業補助金

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,435,000	1,435,000	国庫		地方債	1,435,000
		県費		その他	

中小企業従業員の福利向上を図るため、秦野商工会議所が実施する福利厚生事業に対し、補助した。

- ・施設利用事業 レジャー施設等の利用 (参加者数 536人)
- ・旅行企画事業 観劇 (参加者数 142人)

(28) ふるさとハローワーク・求職者就職支援事業費

[産業振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,169,000	909,258	国庫		地方債	909,258
		県費		その他	

市内在住の求職者の円滑な就職を支援するため、「秦野市ふるさとハローワーク」において、求職者への職業相談及び情報提供等のサービスを行うとともに、専門カウンセラーによる就職支援カウンセリングを実施した。

- ・取扱状況 相談者数 9,080人、職業紹介者数 2,454人 (うち就職者数 530人)
- ・就職支援カウンセリング 42回開催 (相談者数 延べ 136人)

(29) 丹沢まつり補助金

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
5,500,000	528,000	国庫		地方債	528,000
		県費		その他	

表丹沢の本格的な登山シーズンの幕開けを告げる「秦野丹沢まつり」及び「鶴巻温泉春まつり（関連行事）」は、新型コロナウイルス対策のため、通常開催を中止したが、「登山安全祈願式」など、一部式典のみを関係者で開催し、それに伴う経費について、同実行委員会に対し、補助した。

行 事 名	開催日
第65回秦野丹沢まつり ※式典のみ実施	4月18日

(30) たばこ祭補助金

〔観光振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
25,000,000	15,000,000	国庫		地方債	15,000,000
		県費		その他	

本市最大の観光まつりである「第74回秦野たばこ祭」は、新型コロナウイルス対策のため、通常開催を中止したが、秦野市民の記憶に残るメモリアル事業を代替開催し、それに伴う経費について、同実行委員会に対し、補助した。

行 事 名	開 催 日
顔晴ろう秦野！メモリアル打上花火	9月26日
葉タバコ耕作と秦野	常設展示
秦野たばこ資料展	9月11日～26日
メモリアルらんたん展	9月11日～26日
まほろば大橋イルミネーション	10月3日～12月26日
秦野たばこ祭メモリアル動画	9月以降随時公開
秦野たばこ祭メモリアルフリーマガジン	9月1日発行
秦野たばこ祭メモリアルキャンペーン	9月1日～30日
秦野たばこ祭メモリアル フレーム切手	9月24日発売

(31) 桜による誘客促進事業費（繰越明許分を含む。）

〔観光振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
7,210,000	3,140,850	国庫		地方債	308,350
		県費		その他 2,832,500	

本市が誇る観光資源である「桜咲く秦野盆地」の魅力発信のため、カルチャーパークみずなし川緑地の桜並木約1キロメートルにわたって、ライトアップを実施した。（繰越明許分）

また、弘法山公園の桜の開花に合わせて、来訪者の安全を確保するため、交通誘導及び駐車場整理を実施した。

(32) 観光施設維持管理費

〔観光振興課〕

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
31,413,816	26,963,485	国庫		地方債	22,883,342
		県費	862,400	その他 3,217,743	

魅力ある観光地の創出を図るため、観光施設等の適切な維持管理を実施した。

- ・ハイキングコースの巡視並びに観光地の草刈り及び樹木伐採
- ・主要観光施設及び公衆トイレの定期清掃
- ・観光施設の修繕並びに給水設備及び浄化槽の維持管理
- ・県立秦野戸川公園レストハウスの管理運営等

(33) 観光協会補助金

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
32,563,000	31,207,695	国庫		地方債	31,207,695
		県費		その他	

一般社団法人秦野市観光協会による観光魅力創出事業や観光宣伝等の充実を図るため、その運営経費等について、当協会に対し、補助した。

補助対象事業	経費の内容	補助率	補助額(円)
職員雇用費	人件費	10割	25,523,299
管理運営費	観光案内所運営費		280,270
関係団体交付金	県観光協会会費等		210,910
観光魅力創出事業費	パンフレット作成、和太鼓振興		2,939,216
管理運営費	事務所賃借料、各種保険、車両維持管理費、光熱水費等	7割を上限	2,254,000

(34) 丹沢遭難対策協議会補助金

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
750,000	666,781	国庫		地方債	666,781
		県費		その他	

本市の代表的な観光資源である表丹沢での登山者の遭難防止を図るため、関係機関で組織する秦野市丹沢遭難対策協議会に対し、補助した。

- ・山岳救助合同訓練（夏季は新型コロナウイルス対策、春は天候不良のため中止）
- ・安全な登山への啓発（登山者カードの啓発キャンペーン等）
- ・道迷いによる遭難防止のための道標の制作（遭難防止看板）
- ・AED（自動体外式除細動器）の維持管理

(35) 花のある観光地づくり推進事業費

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
2,973,000	2,361,554	国庫		地方債	966,554
		県費		その他	

観光客や市民に安らぎの場を提供するため、ハイキングコース周辺での花の栽培及び本市の観光資源である「桜」の植樹と適切な維持管理を実施した。

・花の栽培

場 所	内 容	延べ栽培地面積 (㎡)
震生湖周辺	コスモス・菜の花栽培	3,891
田原ふるさと公園周辺	コスモス・ポピー栽培	4,232
水無川平和橋上流兩岸	菜の花栽培	8,000
上小学校周辺	コスモス・菜の花栽培	2,340
頭高山	菜の花栽培	5,000
叢毛地区	コスモス・ポピー・菜の花栽培	3,262
峠地区	ヒマワリ・菜の花栽培	5,388
戸川地区	菜の花栽培	1,191
計		33,304

・桜の植樹

場 所	内 容	本 数 (本)
ヤビツ峠	八重桜の植樹	3
頭高山	八重桜の植樹	10
計		13

(36) 鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
138,300,000	125,757,893	国庫	5,597,341	地方債	24,004,795
		県費		その他 96,155,757	

開業 20 周年を迎え、これまで 300 万人を超える多くの方に利用していただき、観光振興とともに、市民の健康増進に努めた。新型コロナウイルスの影響からも徐々に回復し、年間有料入館者は、前年度に比べ、31,478 人増の 110,461 人となった。

なお、機械設備の故障のため、10 月 24 日から 11 月 8 日まで臨時休業した。

ア 誘客キャンペーン

- 7 月 七夕竹飾り
- 8 月 山の日キャンペーン
- 9 月 敬老の日キャンペーン
- 12 月 クリスマスキャンペーン

令和 4 年

- 1 月 新春キャンペーン、成人の日キャンペーン
- 2 月 バレンタインキャンペーン
- 3 月 300 万人達成キャンペーン、ホワイトデーキャンペーン

イ 利用者内訳 (延べ人数)

平 日 (182 日)	62,612 人 (56.7%) (344 人/日)	市内	31,705 人 (50.6%)	大人	31,491 人
		市外	30,907 人 (49.4%)	子ども	214 人
土、日、祝日 (111 日)	47,849 人 (43.3%) (431 人/日)			大人	45,606 人
				子ども	2,243 人
計 (293 日)	110,461 人 (100%) (377 人/日)			大人	107,544 人
				子ども	2,917 人

(37) 鶴巻温泉駅周辺活性化事業費

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
7,171,000	6,149,115	国庫		地方債		4,465,715
		県費	1,113,000	その他	570,400	

鶴巻温泉駅周辺の活性化を図るため、つるまき千の湯の活用や大山～鶴巻温泉駅間の秋のバス運行と運行に合わせた地元商店会等との連携による「秋のにぎわいフェア」の開催、さらには、地域での回遊性を高めるためスタンプラリーを実施した。

(38) 震生湖周辺整備事業費

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
37,857,000	33,152,250	国庫		地方債		19,577,250
		県費	13,575,000	その他		

令和5年(2023年)に誕生100年を迎える国登録記念物の震生湖に訪れる様々な年齢層や目的の人に、四季折々の自然風景を楽しんでもらうため、湖畔周辺の散策道に階段やボードウォークを設置するとともに、ウッドチップ舗装を実施した。

(39) 名水はだの富士見の湯管理運営費

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
70,395,021	58,353,655	国庫		地方債		58,177,628
		県費		その他	176,027	

民間の技術と経験を生かし、サービスの向上と経費の節減を図るため、指定管理者による「名水はだの富士見の湯」の管理運営を実施した。

また、はだのクリーンセンターからの熱源を送る高温配水管の改修工事を実施した。

- ・総利用者数(延べ76,832人) 月平均(6,403人)

(40) ヤビツ峠周辺観光振興事業費(繰越明許分を含む。)

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
8,742,000	7,679,987	国庫	1,965,834	地方債		1,447,196
		県費	1,732,000	その他	2,534,957	

ヤビツ峠周辺の観光振興・地域所得の向上を図るため、「ヤビツ峠レストハウス」を拠点としたイベントや、著名人によるYouTube動画等の情報を発信した。(繰越明許分)

また、WEB記事やチラシ等による、ヤビツ峠レストハウスの広報宣伝に加え、観光客の利便性向上を図るため、レストハウスへの階段に手すりを設置するとともに、ウッドチップ舗装を実施した。

(41) 大倉高原周辺観光振興事業費

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
10,226,000	9,705,960	国庫		地方債	4,740,601
		県費	4,965,000	その他	

大倉高原テントサイトの利用環境の向上を図るため、老朽化した山小屋及びトイレを解体するとともに、水場を整備するため、配水管を修繕した。

(42) 環境配慮型山岳公衆トイレ整備事業費

[観光振興課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
40,381,000	40,381,000	国庫		地方債	
		県費	40,381,000	その他	

大倉高原テントサイトの利用者や登山者の利便性向上のため、既存の山岳公衆トイレを環境配慮型山岳公衆トイレに転換した。

(43) 表丹沢魅力づくり推進事業費

[はだの魅力づくり推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
11,145,000	11,054,773	国庫	3,847,800	地方債	179,173
		県費	133,000	その他	

「表丹沢魅力づくり構想」の具現化と駅周辺のにぎわい創造のため、様々な取組を推進した。

- ア 表丹沢の魅力を活用した取組
- 「都心から近い山岳・里山アクティビティの聖地」として、表丹沢のブランド化に取り組んだ。
- ・ロゴマーク「OMOTAN」の開発
 - ・表丹沢ツーリズム（仮称）構築に向けた受容性調査の実施
 - ・効果的な情報の発信・交流につながる表丹沢総合ホームページの構築に向けた検討
- イ 渋沢丘陵の利活用による駅周辺のにぎわい創造
- 渋沢丘陵とその周辺にある様々な地域資源や取組を効果的に活用・連携させ、地域の活性化につなげることで、持続可能なまちづくりを実現するための「渋沢丘陵利活用方針」を策定した。

(7) 土木費

○ 道路の適正な維持管理

市道については、新たに17路線を認定し、認定市道は2,925路線、総延長は約650キロメートルとなった。

また、道路舗装の打換計画に基づき、延べ19路線、延長4,666メートルの舗装打換工事を行うとともに、市道北矢名106号線の側溝を整備した。通学路の安全対策としては、市道沼代新町10号線に延長201メートルのグリーンベルトを整備した。

引き続き、計画的な舗装の打換え、安全対策を行い、事故防止等の安全性の確保及び健全な道路の維持管理に努める。

橋りょう長寿命化・耐震化事業では、「橋りょう長寿命化修繕計画」及び「橋りょう耐震補強計画」に基づき、南矢名陸橋など3橋の修繕工事・耐震補強工事を実施した。

また、「トンネル・大型カルバート長寿命化修繕計画」に基づき、尾尻地下道など3箇所 of 修繕工事を実施した。

引き続き、定期的な点検を行い、将来にわたる道路網の安全性・信頼性の確保に努める。

はだの桜並木魅力向上事業では、街路樹における桜の樹木診断の点検を実施し、伐採やせん定を行うなど、植栽を適正に管理した。

引き続き、関係課と連携し、はだの桜並木を適切に維持管理していく。

○ 公共施設保全計画の策定と推進

「公共施設保全計画」を策定するとともに、公共施設保全システムを活用し、対象施設の将来の改修時期や費用等の共有化を図り、施設を適切に保全していくための体制を構築した。

引き続き、システムを活用し、公共施設の適正な保全に向けた取組を進める。

○ 生活関連道路等の整備推進

日常生活等の基盤となる道路について、国の交付金を活用し、東海大学前駅北口へのエレベーターやエスカレーターの設置など、4路線の歩道設置事業及び市道14号線など、2路線の市道改良事業を実施した。

また、市単独事業として、市道75号線など、14路線の市道改良事業を実施した。

引き続き、生活環境の改善を図るため、計画的に事業を進める。

- 秦野丹沢スマートインターチェンジの周辺整備
新東名高速道路の開通に合わせ、秦野丹沢スマートインターチェンジ周辺道路の安全対策工事を実施した。
また、菩提横野線及び矢坪沢の整備に向けて、用地測量や地形測量、予備設計を実施した。
引き続き、スマートインターチェンジと中心市街地のアクセスを強化する菩提横野線及び関連事業である矢坪沢の整備に取り組む。
- 河川や水路の適切な維持管理
法面崩落等を未然に防止するため、室川や堀水路の護岸を整備するとともに、その他の水路についても、健全に機能するように補修や除草を実施した。
引き続き、河川や水路の適切な維持管理を行い、防災・減災対策の推進を図る。
- 建築物耐震改修等の促進
既存建築物の耐震性の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進するため、各公民館で耐震相談会等を実施し、市民意識の向上を図った。
また、広報特集号の発行、対象建築物への個別ポスティング等を通じて、耐震化の必要性と補助制度の周知に努め、木造建築物の耐震診断や改修工事等に対し、助成した。
引き続き、積極的な周知と啓発を行い、耐震性の向上に努める。
- 公共交通の確保
乗合タクシー（路線固定型・デマンド型）を運行する交通事業者に対し、経費の一部を補助した。
また、新型コロナウイルスの拡大により、事業の運営に影響を受けた地域公共交通を維持するため、運行経費の一部を助成した。
引き続き、地域住民や交通事業者と連携し、公共交通の利便性の向上と利用促進を図る。
- 空家対策の推進
「秦野市空家等の適正管理に関する条例」に基づき、管理不全空家の解消を推進するとともに、空家の活用モデル事業として、移住お試し住宅を開設した。
引き続き、良好な生活環境の保全を図るため、管理不全空家対策、活用促進策及び発生予防策に取り組む。

○ 秦野駅南部（今泉）土地区画整理事業の推進

都市計画道路等の公共施設の整備改善と沿道住宅地の利用促進を図り、良好な都市機能の向上と健全な市街地の形成に資するため、都市計画道路尾尻諏訪原線沿道区域の土地区画整理事業について、仮換地指定に伴う移転補償及び造成工事等を実施した。

引き続き、建物移転や補償交渉など、事業の円滑な進捗に努める。

○ インター周辺土地区画整理の事業化支援

土地区画整理事業によって公共施設の整備改善を図るとともに、地域環境と調和した産業系土地利用を実現し、地域や産業の活性化につなげるため、戸川地区及び西大竹地区における土地区画整理の事業化に向けた取組を支援した。

引き続き、各準備組合へ技術的援助を行い、早期事業化に向けて取り組む。

○ 公園の適正な維持管理

「都市公園長寿命化計画」に基づき、南が丘公園など、12公園の遊具等の改修を実施した。

また、N I T T A Nパークおおねでは、温水プール棟の熱源機器の更新や遊具等の改修、メタックス体育館はだのでは、メインアリーナの音響設備装置の更新を実施した。

引き続き、各施設の計画的な修繕・更新を行い、誰もが安全で安心して利用できる公園の環境整備に努めるとともに、市民等との協働による公園管理を行う。

(1) 土木管理業務費

[建設総務課・国県事業推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
38,533,332	35,417,007	国庫		地方債		25,575,315
		県費	7,695,000	その他	2,146,692	

道路を適正に管理するため、道路台帳の補正更新や地籍調査等を実施した。

・市道認定状況

区分	路線数	総延長 (m)
令和2年度末時点	2,908	648,271.9
令和3年度中	17	1,454.1
令和3年度末時点	2,925	649,726.0

・委託料 25,679,478円

道路台帳補正更新委託業務外 3件 11,429,000円

地籍調査委託業務(0.09km²) 1件 9,963,800円

道路測量等 4,286,678円

・その他(賃借料、保険料等) 9,737,529円

(2) 駅前広場等管理費

[建設総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
93,452,570	90,846,877	国庫		地方債		90,560,351
		県費		その他	286,526	

市内4駅の7駅前広場及びまほろば大橋が安全で快適、清潔な環境を保てるよう、維持管理に努めた。

・需用費 光熱水費、修繕料等 28,046,124円

・役務費 監視室電話料等 1,817,108円

・委託料 秦野駅北口広場エスカレーター設備保守点検委託業務外 33件 59,956,025円

・その他 駅前広場LED照明灯賃借、路面補修材 1,027,620円

(3) 急傾斜地崩壊防止対策事業費

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
9,100,000	2,080,000	国庫		地方債		2,080,000
		県費		その他		

「急傾斜地崩壊危険区域」に指定された区域の中で、がけ地の所有者又はがけ地の崩壊により被害を受ける恐れのある者が、施工することが困難又は不適當で、かつ、県の工事実施基準を満たす場合に行う工事に対し、市の負担額を支出した。

・県が施行した急傾斜地崩壊防止対策工事の負担金

箇所名	内容	事業費 (円)	市負担金 (円)	事業区分	負担割合
栃窪	委託	372,850	74,570	県単	県8/10、市2/10
東田原	委託	7,827,150	1,565,430		
渋沢立野	法面工	1,100,000	220,000		
峠B	法面工	1,100,000	220,000		
計	—	10,400,000	2,080,000	—	—

(4) 公共建築維持保全業務費

[公共建築課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,499,000	1,492,636	国庫		地方債	1,492,636
		県費		その他	

公共施設保全システムの運用管理を実施した。

- ・委託料 1,455,300円

(5) 国県・高規格道路対策事務費

[国県事業推進課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
40,623,098	38,817,202	国庫		地方債	38,817,202
		県費		その他	

新東名高速道路、秦野丹沢スマートICの開通に伴い、市街地に案内標識を設置するとともに、開通イベントを実施した。

- ・委託料
 - 開通イベント 開催期日 3/20 参加者数 約2,400人 4,873,305円
 - 市街地案内標識 32か所設置 30,448,748円
- ・その他(報酬等) 3,495,149円

(6) 街路樹管理等委託費

[建設管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
56,262,900	56,262,900	国庫		地方債	56,262,900
		県費		その他	

通行の安全性と良好な生活環境を保持するため、街路樹のせん定、除草及び側溝清掃等を実施した。

- ・委託料 市道5号線外 78件 56,262,900円

(7) 市道維持補修工事等経費

[建設管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
166,057,030	163,728,034	国庫		地方債		83,729,112
		県費		その他	79,998,922	

老朽化した道路施設を対象に、通行の安全性を確保するため、舗装、排水、擁壁及び災害復旧の工事を実施した。

・委託料	測量委託業務外	5件	14,156,664円
・工事請負費	市道9号線外	146件	122,793,506円
・原材料費	直営補修用材料		13,823,602円
・その他	光熱水費、修繕料等		12,954,262円

(8) 市道舗装費

[建設管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
100,500,000	99,910,690	国庫		地方債	50,000,000	49,910,690
		県費		その他		

通行の安全性の向上を図るため、舗装が老朽化した路線を対象に、打換えを実施した。

・工事請負費	市道6号線外	13件	99,910,690円
--------	--------	-----	-------------

(9) 市道側溝整備費

[建設管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
8,500,000	7,017,710	国庫		地方債		7,017,710
		県費		その他		

通行の安全性と生活環境を向上するため、側溝の整備を実施した。

・工事請負費	市道北矢名106号線	1件	6,622,110円
・補償費	電柱移転	1件	395,600円

(10) 国庫関連市道舗装費（繰越明許分を含む。）

[建設管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
381,980,000	255,228,270	国庫	123,150,000	地方債	132,000,000	
		県費		その他	78,270	

通行の安全性の向上を図るため、国の交付金を活用し、舗装が老朽化した路線を対象に、打換えを実施した。

(繰越明許分のみ執行)

・工事請負費 市道 14 号線外 7 件 255,228,270 円

(11) 国庫関連通学路整備工事費

[建設管理課・道路整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
102,554,000	8,071,558	国庫	3,960,000	地方債	2,900,000	1,211,558
		県費		その他		

通学時の児童、生徒の安全性向上のため、国の交付金を活用し、通学路整備を実施した。

・役務費 不動産鑑定業務 1 件 39,600 円
 ・委託料 設計等 2 件 785,158 円
 ・工事請負費 市道沼代新町 10 号線 1 件 7,246,800 円

(12) 交通安全施設整備等経費

[建設管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
40,409,000	38,202,340	国庫		地方債		38,202,340
		県費		その他		

交通安全と利便性の向上を図るため、歩道や自転車通行帯を整備するとともに、道路反射鏡を設置した。

・使用料及び賃借料 道路照明灯 LED リース料 7,050,120 円
 ・工事請負費 市道 14 号線外 2 件 27,848,700 円
 ・原材料費 道路反射鏡 3,303,520 円

(13) 狭あい道路整備事業費

[道路整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
91,641,000	79,861,698	国庫	30,194,000	地方債	27,100,000	22,567,698
		県費		その他		

「秦野市まちづくり条例」に基づき、市民に理解と協力を求めて、幅員 4m に満たない狭あい道路を整備し、生活環境の向上と住み良いまちづくりに努めた。

・後退件数及び整備内容

後退件数 71 件	整備内容	金額 (円)
		測量等委託業務 79 件
	舗装等整備工事 39 か所	28,730,900
	用地買収 741.17m ²	15,333,904
	除却工事等補助金 40 件	14,025,000
	事務費等 一式	37,994
	計	79,861,698

・後退状況

区 分	買 収	寄 附	無償使用等	計
件数 (件)	47	4	20	71
延長 (m)	788.16	70.51	367.70	1,226.37
面積 (m ²)	741.17	75.12	215.30	1,031.59

(14) 国庫関連歩道設置事業費 (通次線越及び線越明許分を含む。)

[道路整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
452,424,540	373,038,152	国庫	158,851,000	地方債	116,800,000	71,163,026
		県費		その他	26,224,126	

歩行者が多く利用する通学路等において、歩行者の安全を確保するため、国の交付金を活用し、歩道設置を実施した。

また、東海大学前駅北口のエレベーター及び上りエスカレーター整備工事を実施した。

・役務費	不動産鑑定業務	1件	44,000円
・委託料	建物調査等	2件	8,951,360円
・工事請負費	市道65号線外	4件	266,191,800円
・用地費	19.42m ²	1件	2,738,220円
・補償費	工作物等	1件	7,788,646円

(通次線越分)

・工事請負費	市道65号線	1件	7,275,900円
--------	--------	----	------------

(線越明許分)

・用地費	53.38m ²	1件	7,553,270円
・補償費	工作物等	2件	72,494,956円

(15) はだの桜並木魅力向上事業費

[建設管理課・公園課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
28,212,100	22,811,360	国庫		地方債		
		県費		その他	22,811,360	

樹木の健全な成育を図り、桜による事故を未然に防止するため、診断、せん定及び整備を実施した。

・委託料 (樹木診断等)	市道23号線街路樹及びみずなし川緑地外	8件	7,436,660円
・工事請負費	市道23号線	1件	15,374,700円

(16) 市道改良事業費

[道路整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
166,213,000	130,890,426	国庫		地方債		130,890,426
		県費		その他		

日常の円滑な交通処理及び災害時における緊急車両等の通行経路を確保するため、既存の市道の拡幅改良を実施した。

・役務費	共済基金分担金（保険料）	2件	6,284円
・委託料	測量等	6件	9,693,200円
・工事請負費	市道75号線外	7件	101,631,530円
・用地費	156.47m ²	7件	7,467,350円
・補償費	電柱移転、工作物等	11件	12,092,062円

(17) 国庫関連市道改良事業費

[道路整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
109,894,000	100,587,141	国庫	30,244,000	地方債	27,200,000	40,643,141
		県費		その他	2,500,000	

日常の円滑な交通処理及び災害時における緊急車両等の通行経路を確保するため、国の交付金を活用し、市道の拡幅改良を実施した。

・役務費	不動産鑑定業務	2件	521,400円
・委託料	測量等	4件	3,931,400円
・工事請負費	市道14号線	2件	89,519,100円
・用地費	36.63m ²	2件	3,925,397円
・補償費	工作物等	1件	2,689,844円

(18) 秦野SA（仮称）関連道路施設整備事業費

[道路整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
146,365,000	73,372,822	国庫		地方債		73,372,822
		県費		その他		

新東名高速道路の開通に合わせ、秦野丹沢スマートIC周辺道路の安全対策工事を実施した。また、菩提横野線や矢坪沢の整備に向けた測量等を実施した。

・役務費	新聞折り込み料	1件	8,168円
・委託料	測量等	6件	23,625,954円
・工事請負費	安全対策工事	1件	49,738,700円

(19) 橋りょう長寿命化・耐震化事業費（繰越明許分を含む。）

[建設管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
439,850,000	343,350,260	国庫	209,114,400	地方債	106,900,000	14,826,860
		県費		その他	12,509,000	

「橋りょう長寿命化修繕計画」、「橋りょう耐震補強計画」及び「トンネル・大型カルバート長寿命化修繕計画」に基づき、国の補助金を活用し、橋りょう修繕工事、耐震補強工事及びトンネル・大型カルバート修繕工事を実施した。

- ・委託料 橋りょう点検外 4件 20,349,560円
- ・工事請負費 南矢名陸橋外 2件 145,929,300円
(繰越明許分)
- ・工事請負費 尾尻地下道外 5件 177,071,400円

(20) 雨水排水施設等管理事業費

[建設管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
76,428,000	68,848,207	国庫		地方債	68,848,207
		県費		その他	

河川及び水路の機能を維持するため、除草や整備等を実施し、生活環境の改善に努めた。

- ・委託料 公共下水道事業への委託事業、大根川除草外 22件 50,986,407円
- ・工事請負費 堀水路補修外 20件 17,670,400円
- ・原材料費 直営補修用材料 191,400円

(21) 河川改修事業費

[道路整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
18,100,000	9,075,220	国庫		地方債	9,075,220
		県費		その他	

河川等の機能向上を図るため、室川の河川改修工事を実施した。

- ・委託料 測量 1件 484,000円
- ・工事請負費 室川 1件 8,591,220円

(22) 都市計画策定事務費

[まちづくり計画課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
28,640,000	24,767,268	国庫		地方債	24,767,268
		県費		その他	

都市計画法第6条に基づき、概ね5年ごとに実施される都市計画基礎調査に向けて、都市計画基本図を修正した。

また、新たな産業拠点として計画的な整備を図るため、市街化区域への編入及び周辺道路の整備に向けた関係機関協議資料を作成した。

- ・委託料 都市計画基本図の修正等 2件 19,448,000円
- 新市街地ゾーン（戸川地区）関連道路予備設計の修正等 5件 4,323,000円
- 新市街地ゾーン（西大竹地区）都市計画協議資料の作成 2件 693,000円

(23) 開発行為等事務費

[開発指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
5,726,000	4,219,790	国庫		地方債	
		県費		その他	4,219,790

「秦野市まちづくり条例」に基づく環境創出行為の手續及び「都市計画法」に基づく開発許可等の事務を実施した。

ア 環境創出行為事前協議書受付件数

単位：件

開発の種類 開発行為区分	開発の種類				計
	一戸建住宅	集合住宅	店舗	その他	
都市計画法による開発行為	30	3	1	3	37
まちづくり条例による環境創出行為	2	8	1	9	20
計	32	11	2	12	57

イ 小規模環境創出行為事前調査書等受付件数

単位：件

一戸建住宅	集合住宅	店舗	工場	擁壁	その他	計
14	29	4	1	5	30	83

ウ 開発許可等申請件数

単位：件

区分	市街化区域	市街化調整区域	計
開発許可	40	7	47
建築許可	—	16	16
計	40	23	63

エ 開発区域台帳等の電子化

- ・委託料 開発区域台帳等電子化委託業務等 2件 1,602,928円

(24) 建築物耐震改修等補助事業費

[建築指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
9,443,000	4,163,889	国庫	1,947,000	地方債	
		県費	960,000	その他	1,256,889

既存木造建築物の耐震化を促進し、地震に強いまちづくりを推進するため、自ら所有し、居住する住宅の耐震診断、補強設計及び耐震改修工事を実施した個人に対し、補助した。

・補助実績

区分	内訳	件数(件)	金額(円)
木造建築物耐震改修 工事等補助金	耐震診断	8	680,000
	補強設計	6	300,000
	耐震改修工事	5	3,062,000
計		19	4,042,000

(25) 建築確認等事務費

[建築指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
15,785,000	12,066,711	国庫		地方債	7,052,203
		県費		その他	
				5,014,508	

「建築基準法」等に基づく建築物の安全性の事前審査を行うほか、良好な住環境を維持するため、建築物に関する相談及び指導を実施した。

ア 建築確認申請等件数

区分		法第6条関係 (一般申請)	法第18条関係 (計画通知)
建築物	確認申請	28	8
	中間検査申請	4	0
	完了検査申請	27	10
	計画変更申請	0	0
建築設備	確認申請	1	5
	完了検査申請	0	5
工作物	確認申請	3	0
	完了検査申請	3	0
計		66	28

イ 委託料

指定道路台帳電子化委託業務等 5件 6,960,393円

ウ 使用料及び賃借料

建築行政共用データベースシステム利用料等 3件 1,268,337円

エ 負担金

神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金等 7件 484,440円

(26) 公共交通推進事業費

[交通住宅課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
19,392,000	17,003,107	国庫	6,595,000	地方債	10,408,107
		県費		その他	

公共交通空白・不便地域において、地域公共交通の確保維持を図るため、乗合タクシーを運行する交通事業者に対し、運行経費の一部を補助するとともに、新型コロナウイルスの影響により、乗客が大幅に減少し、収益確保が困難な状況にある地域公共交通事業者に対し、運行経費の一部を助成した。

また、市内の事業所を中心に、事業所自主参加型エコ通勤デー（通年型）及び交通スリム化キャンペーンはだの（イベント型）に取り組み、顕著な功績があった事業所等を表彰した。

ア 乗合タクシーの運行支援

- ・補助金 乗合タクシー運行補助金 9,946,450円

(7) 路線固定型乗合タクシー

路線名	運賃	延べ利用者数(人)
渋沢駅・秦野赤十字病院ルート	区間により 200円・250円・300円	11,726
おおね台ルート	一律 200円	14,166
湯の沢線	区間により 200円・250円・300円	10,126
みくるべ線	区間により 200円・250円・300円	4,322
柳川・八沢線	区間により 200円・250円・300円	2,834
計		43,174

(イ) デマンド型乗合タクシー

運行日数 84日
 稼働便数 161便
 運賃 350円(利用登録者2人で同時利用する場合は、1人300円。また、1人で同日に往復利用する場合は、復路250円)
 利用登録者数 147人(利用登録者と同乗する場合に限って、未登録者も利用可能)
 利用者数 延べ164人

イ 地域公共交通運行継続等支援金

交付実績 6,595,000円

事業者	運行継続等支援金
路線バス事業者1社	5,055,000円
高速バス事業者3社	320,000円
コミュニティタクシー事業者1社	200,000円
タクシー事業者3社	940,000円
個人タクシー事業者8人	80,000円

ウ 公共交通の利用促進

高速路線バスの利用者用駐車場等の土地を確保し、公共交通の利用促進に努めた。

・賃借料 土地賃借料 255,500円

エ はだの交通スリム化推進事業

(7) 事業所自主参加型エコ通勤デー(通年型)

実施期間 1月～12月(月2回以上実施) 参加者数 延べ26,598人

(イ) 交通スリム化キャンペーンはだの(イベント型)

実施日 11月1日～8日 参加者数 延べ1,981人

(7) 交通スリム化協力事業所表彰 2事業所

(27) 乗合バス維持確保事業費

[交通住宅課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
7,430,000	3,214,244	国庫		地方債	2,301,783
		県費		その他 912,461	

乗合バス路線を維持するため、バス折り返し場を確保するなどの運行支援をした。

ア バス輸送力の確保

オレンジヒル、羽根、曾屋弘法の各路線のバス折り返し場を確保し、地域における生活交通の維持に努めた。

・賃借料 土地賃借料 3,163,520円

イ 路線バス利用促進事業（不採算路線維持事業）

- ・補助金 不採算路線バス折り返し場借地補助金（峠） 50,724円

(28) 景観まちづくり推進事業費

[開発指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
306,000	253,468	国庫		地方債	247,388
		県費		その他	

景観まちづくりを普及啓発するため、ふるさと秦野生活美観表彰等を実施するとともに、「秦野市景観まちづくり条例」に基づく生活美観創出協議等を実施した。

ア イベント等による啓発活動

ふるさと秦野生活美観表彰などを通して、地域の良さを多くの人に広めるとともに、景観まちづくりについて、市民意識の高揚を図った。

- ・報償費（ふるさと秦野生活美観大賞記念品等） 11,000円

イ 広報はだの「景観まちづくり特集号」の発行

景観に関する身近な話題等を広く知ってもらうため、広報はだの「景観まちづくり特集号」を発行した。（年1回）

- ・役務費（折り込み料） 4,112円
- ・委託料（作成） 117,777円

ウ 生活美観創出協議及び景観法の届出

一定規模以上の建築行為等について、「秦野市景観まちづくり条例」に基づく生活美観創出協議や「景観法」に基づく届出により、良好な景観形成に向け誘導した。

- ・生活美観創出協議等受付件数

区分	件数(件)
建築物	6
工作物	10
面積が500m ² 以上の開発行為等	37
届出対象外の協議	18
計	71

(29) 屋外広告物許可等事務費

[建築指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
2,459,000	2,130,048	国庫		地方債	
		県費		その他	

「秦野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の許可及び維持管理の指導等を行い、秩序ある屋外広告物の設置を誘導した。

ア 許可申請状況

区分	新規	継続	計
件数(件)	47	160	207

イ 簡易除却

違反屋外広告物のうち、「屋外広告物法」に規定する張り紙等について、良好な景観形成等に向け除却を行った。

- ・除却件数 75 件

ウ 委託料 屋外広告物調査等委託業務等 3 件 756,800 円

(30) 空家等対策事業費

[交通住宅課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
5,408,000	5,005,649	国庫		地方債		3,027,649
		県費	1,798,000	その他	180,000	

良好な生活環境の保全を図るため、管理不全空家の解消を進めるとともに、活用促進や発生予防に取り組んだ。

ア 管理不全空家対策

(ア) 条例の施行

所有者による適正管理を促進するため、「秦野市空家等の適正管理に関する条例」を6月1日に施行した。

(イ) 管理不全空家所有者との是正交渉

管理不全空家の所有者に対し、適正に管理するよう是正交渉を行い、管理不全空家の解消を図った。

- ・是正交渉件数 100 件 改善件数 74 件 改善率 74.0%

イ 活用促進策

(ア) 空家バンクの運営

空家所有者と利用希望者をつなぐ「空家バンク」を運営した。

- ・登録物件数 26 件 成約件数 12 件

(イ) 活用モデル事業「移住お試し住宅」の開設

空家を活用したモデル事業として「移住お試し住宅」を開設した。

- ・利用者数 15 世帯 39 人 (11 月～令和 4 年 3 月)

ウ 発生予防策

固定資産税納税通知書にリーフレットを同封するなど、意識醸成を図った。

(31) 秦野駅南部（今泉）土地区画整理事業費（繰越明許分を含む。）

[都市整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
756,617,000	502,343,128	国庫	121,493,000	地方債	109,300,000	225,246,193
		県費		その他	46,303,935	

駅周辺における良好な住環境の形成を促進するため、都市計画道路沿道区域について、仮換地指定に伴う移転補償及び造成工事等を実施した。

- ・ 役務費 不動産鑑定評価業務、賠償責任保険 2 件 287,220 円
- ・ 委託料 換地設計、建物調査、測量等 11 件 9,526,330 円
- ・ 使用料及び賃借料 建物賃借料 1 件 1,800,000 円
- ・ 工事請負費 造成工事 1 件 109,322,400 円

・負担金	水道事業工事	1件	27,936,090円
・補償費	建物等移転、仮住居費等、電柱移設	37件	308,278,751円
・その他		一式	204,169円
(繰越明許分)			
・工事請負費	造成工事	1件	20,842,942円
・補償費	建物等移転、仮住居費等	4件	24,145,226円

(32) インター周辺整備事業費

[都市整備課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
17,529,000	10,507,222	国庫		地方債	10,507,222
		県費		その他	

インター周辺における土地区画整理事業の実現に向け、準備組合の運営を支援するとともに、測量等の委託業務を実施し、業務代行予定者の選定や地元の合意形成に努めた。

- ・委託料 準備組合運営支援、測量等 4件 10,164,000円

(33) 都市公園及び緑地管理費

[公園課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
85,105,624	83,110,157	国庫		地方債	77,659,998
		県費		その他 5,450,159	

都市公園としての適切な機能を保ち、安全で快適な利用、より良い景観と快適な空間とするため、公園及び緑地等の維持管理を実施した。

ア 公園及び緑地の数等

- ・都市公園 南が丘公園ほか185公園 (※) 面積 433,158㎡
- ・都市緑地 みずなし川緑地ほか11公園 面積 250,540㎡
- ・その他の公園緑地 東映つるまき緑地ほか12公園 面積 23,679㎡

※市内の都市公園のうち、桜土手古墳公園、秦野交通公園及び県立秦野戸川公園を除く。

イ 委託料

- ・公園の維持管理等 58,059,993円

ウ 工事請負費

- ・公園等改修 4件 4,603,984円

エ その他の維持管理費

- ・光熱水費、修繕料等 20,446,180円

(34) 公園等美化推進事業費

[公園課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
3,030,000	3,029,089	国庫		地方債	3,029,089
		県費		その他	

市民にとって身近な公共空間である公園等の美化を促進するため、市民等のボランティアによる美化活動を支援し、美化に対する市民意識の高揚を図りながら、市民等との協働による公共空間を創出した。

- ア 公園愛護活動補助金 1,578,195 円
 - ・補助団体数 66 団体 (81 公園)
- イ 公園アダプト支給物品等 1,450,894 円
 - ・登録団体数 56 団体

(35) 都市公園長寿命化事業費

[公園課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
31,863,000	31,113,390	国庫	15,500,000	地方債	13,900,000	1,713,390
		県費		その他		

公園施設の安全を確保し、利便性を高めるため、遊具等の改修を実施した。

- ・工事請負費 (南が丘公園ほか 11 公園) 7 件 31,113,390 円

(36) おおね公園維持管理費

[公園課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
418,739,134	219,485,939	国庫		地方債		100,969,016
		県費	11,896,000	その他	106,620,923	

利用者の安全性と利便性の向上を図るため、適切な施設の整備と維持管理に努めた。

なお、温水プール棟の熱源機器更新工事のため、11月1日から令和4年3月31日まで温水プールの利用を中止した。

- ア 施設の概要 屋内施設 (温水プール、トレーニングルーム)、テニスコート (4 面)、多目的広場、ゲートボール場、スケーティング場、わんぱく広場、ふれあい広場、じゃぶじゃぶ池、やすらぎの池、駐車場

イ 事業費の内訳

- ・光熱水費 24,592,709 円
- ・修繕料 3,489,468 円
- ・委託料 66,213,356 円
- ・使用料及び賃借料 7,713,957 円
- ・工事請負費 (温水プール棟熱源機器更新工事ほか 4 件) 93,924,890 円
- ・その他施設管理費 23,551,559 円

ウ 延べ利用者数

温水プール	トレーニングルーム	テニスコート	多目的広場
41,970 人	9,389 人	24,504 人	63,066 人
ゲートボール場	スケーティング場	計	
4,416 人	8,898 人	152,243 人	

(37) 立野緑地庭球場維持管理費

[公園課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
4,665,000	4,577,072	国庫		地方債		1,384,322
		県費		その他	3,192,750	

利用者の安全を確保するため、適切な施設の維持管理に努めた。

ア 施設の概要

テニスコート(3面)、管理事務所

イ 事業費の内訳

- ・光熱水費 42,333 円
- ・委託料 3,883,000 円
- ・使用料及び賃借料 533,213 円
- ・その他施設管理費 118,526 円

ウ 延べ利用者数

13,061 人

(38) 総合体育館維持管理費

[公園課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
126,867,469	112,625,663	国庫		地方債		93,339,203
		県費		その他	19,286,460	

屋内スポーツやレクリエーション活動の拠点であるメタックス体育館はだのにおいて、メインアリーナの音響設備装置の更新工事など、維持管理を実施し、安全で快適な利用環境の整備に努めた。

なお、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場のため、5月23日から11月21日まで、令和4年1月20日から5月28日まで、休館及び一部施設の利用を中止した。

ア 施設の概要 (建築面積 7,305.02㎡)

メインアリーナ、サブアリーナ、第1武道場、第2武道場、弓道場、トレーニングルーム、ランニングコース、会議室(3室)

イ 事業費の内訳

- ・光熱水費 21,936,633 円
- ・修繕料 1,562,110 円
- ・委託料 56,508,357 円
- ・使用料及び賃借料 7,975,901 円
- ・工事請負費 5,201,900 円
- ・その他施設管理費 19,440,762 円

ウ 延べ利用者数

メインアリーナ	サブアリーナ	第1・2武道場	弓道場
148,855 人	87,923 人	34,048 人	8,226 人
トレーニングルーム	ランニングコース	会議室	計
16,971 人	1,224 人	2,050 人	299,297 人

(39) 公園施設維持管理費

[公園課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
142,128,773	136,508,380	国庫		地方債		95,488,398
		県費		その他	41,019,982	

利用者の安全性と利便性の向上を図るため、適切な施設の整備と維持管理に努めた。

なお、新型コロナウイルス対策のため、水泳プールは、7月17日から9月5日までに期間を短縮して開放した。

ア 施設の概要 中栄信金スタジアム秦野、陸上競技場、テニスコート(10面)、水泳プール、管理棟、バラ園、じゃぶじゃぶ池、ペコちゃん公園はだの、みずなし川緑地、駐車場

イ 事業費の内訳

- ・光熱水費 10,428,115 円
- ・修繕料 3,458,132 円
- ・委託料 93,916,641 円
- ・使用料及び賃借料 2,109,172 円
- ・その他施設管理費 26,596,320 円

ウ 延べ利用者数

野球場	陸上競技場	テニスコート	水泳プール	計
17,259 人	54,746 人	84,951 人	24,757 人	181,713 人

(40) ミライエ秦野維持管理費

[交通住宅課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
11,749,000	10,852,741	国庫		地方債		4,630,000
		県費		その他	6,222,741	

定住化促進住宅「ミライエ秦野」の維持管理を実施するとともに、市内に住宅を購入した者に対し、助成した。

- ・維持管理費等 6,222,741 円
- ・住宅購入助成金 12 件 4,630,000 円

(8) 消防費

○ 防火・防災思想の普及啓発の推進

地域における防火意識の向上を目指し、火災予防運動、危険物安全週間等を通じ、市民への防火思想の普及に努めた。

また、歳末火災特別警戒においては、市長及び消防団長による「消防団歳末火災特別警戒激励式」を開催し、消防団員の士気高揚に努めた。

さらに、県による土砂災害特別警戒区域の指定等を踏まえ、防災マップ・ハンドブックを更新し、自治会を通じた配布等により、市民自らが地域の危険箇所を確認し、迅速な避難判断ができるよう、啓発に努めた。

引き続き、防火・防災意識向上のため、普及啓発に取り組む。

○ 救急体制の充実

派遣型救急ワークステーション事業として、平日の月曜日から木曜日まで、救急隊を秦野赤十字病院に派遣して運用した。

また、高度救急救命体制の充実を図るため、指導救命士、気管挿管認定救急救命士及びビデオ喉頭鏡を使用した気管挿管の認定救急救命士を養成した。

さらに、消防署大根分署の高規格救急自動車1台を更新した。

引き続き、質の高い救急救命士を養成し、救命率の向上を図る。

○ 救急活動における市民との協働

誰もが尊い命を救える環境を整備するため、AEDを含めた心肺蘇生法が迅速・的確になされるよう、応急手当普及啓発事業を実施した。

引き続き、救急要請に対して速やかに救命処置がなされるよう、応急手当の普及啓発に取り組む。

○ 感染症対策資器材の強化

救急出動時の新型感染症対策として、ゴム手袋やマスクなどの標準感染予防資器材を整備した。

引き続き、新型感染症等に万全の体制で活動が行えるよう、資器材の強化に努める。

○ 消防施設の維持管理

消防施設の機能を絶え間なく維持するため、消防署鶴巻分署屋上防水工事を実施するとともに、新型感染症対策として、感染防止対策用洗濯乾燥機を各署所へ整備した。

また、女性活躍推進の取組として、消防署鶴巻分署に女性専用シャワー室を設置した。

引き続き、災害活動の拠点となる消防施設における不具合等の状況を的確に把握し、計画的な改修等に努める。

○ 地域防災力の充実・強化

地域防災力の充実強化を図るため、消防団車庫待機室の建替え及びトイレ改修等を実施した。

また、消防団サポートショップの拡充を図るため、団員の要望等を調査し、サポートショップへの加入促進に努めるとともに、処遇改善として、年額報酬及び災害出動手当の引上げを実施した。

引き続き、地域防災力の充実強化に努める。

○ 消防車両の整備

消防力の充実強化を図るため、消防署鶴巻分署にポンプ付救助工作車を新たに配備するとともに、消防署大根分署の小型搬送車を更新した。

引き続き、消防力の低下を招くことがないように、計画的な車両更新に努める。

○ 消防業務の効率化

消防業務の効率化を図る本市と伊勢原市の消防通信指令事務の共同運用に向け、共同消防指令センターの建設に係る設計業務を実施した。

引き続き、令和7年度の共同運用開始に向け、準備を進める。

○ 風水害対策の強化

風水害の未然防止と早期復旧のため、危険木の伐採や宅地内流入土砂撤去等にかかる費用の補助制度を新設した。

また、市が管理する準用河川等にウェブ上で市民に公開する危機管理型水位計を新たに5か所設置し、観測体制を拡充した。

○ 新型感染症への対応

感染の第5波及び第6波の感染拡大時には、新型コロナウイルス感染症対策本部会議で感染症対策に係る協議や感染状況等の情報を共有するなど、庁内で連携しながら対策を講じた。

また、新型感染症にり患した自宅療養者及び自主療養者のうち、親族等から支援を受けることができない者や濃厚接触者に対して食料品等の提供を行い、不安の解消に努めた。

(1) 出初式等行事経費

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
349,000	166,986	国庫		地方債		166,986
		県費		その他		

年の初めに当たり、消防職員・団員の士気高揚を図るため、消防出初式を開催した。
 新型感染症対策のため、規模を縮小し、式典のみ実施した。

- ・開催日 令和4年1月8日
- ・場所 カルチャーパーク第2駐車場

(2) 火災予防啓発経費

[予防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
985,000	808,022	国庫		地方債		
		県費		その他	808,022	

火災の発生防止と被害の軽減を図るため、広く市民に防火思想を普及させるための啓発事業を実施するとともに、事業所に対して防火査察を実施し、防火管理体制の確立及び火災予防の指導に努めた。

ア 火災予防運動等

- ・危険物安全週間 6月6日～12日
- ・秋季火災予防運動 11月9日～15日
- ・歳末火災特別警戒 12月25日～31日
- ・春季火災予防運動 令和4年3月1日～7日

イ 防火管理指導等

- ・防火対象物及び危険物施設の防火査察
防火対象物 131件、危険物施設 45件
- ・建築確認等の消防同意
処理件数 527件、指導件数 56件
- ・防火対象物の使用開始前検査 128件
- ・消防用設備等の設置検査
新設 109件、増・改設 92件
- ・危険物施設の許可、検査及び承認
許可件数 62件、検査件数 67件、承認件数 63件

(3) 消火活動等業務費

[消防管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
4,092,000	3,906,196	国庫		地方債		2,843,559
		県費		その他	1,062,637	

多種多様化する災害及び異常気象により大規模化している自然災害に的確に対応するとともに、被害を最小限にとどめるため、近隣消防本部及び他機関と実践的な合同訓練を実施し、効果的な部隊訓練など、応援体制の連携強化を図った。

ア 火災件数 28 件

イ 各種訓練の実施状況

- ・新東名高速道路開通に伴う火災・救助合同訓練
(伊勢原市、神奈川県警察、中日本高速道路株、中日本ハイウェイ・パトロール東京(株))
- ・県央都市消防行政協議会広域応援部隊合同訓練
(厚木市、大和市、座間市、伊勢原市、海老名市、綾瀬市、愛川町)
- ・航空機特別応援に係る合同訓練 (川崎市)

(4) 住宅等防火対策経費

[予防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
585,000	571,928	国庫		地方債	571,928
		県費		その他	

幼年期の火遊びが原因となる火災を防ぐため、様々な講習を通じて、火災のおそろしさや火災に遭遇した際の安全確保策等を伝える防火教育を推進した。

また、住宅用火災警報器の適切な維持管理や本体の交換等を促進するため、市内大型物品販売店舗に住宅用火災警報器専用のコーナーを設け、普及啓発活動を展開した。

ア 幼年消防クラブ活動育成

- ・防火講話等 4月～令和4年2月 81回 4,024人
- ・幼年消防クラブ1日消防士体験等 11月～令和4年1月 参加7クラブ 223人

イ 普及啓発コーナーの設置

- ・イオン秦野店、秦野ショッピングセンター

(5) 救急活動業務費

[消防管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
3,596,725	3,591,548	国庫		地方債	3,234,542
		県費		その他	

救急出動に伴う、傷病者の救命率の向上を図るため、応急処置に必要な救急資器材を整備した。

・救急活動の状況

出動件数	搬送件数	搬送人員	不搬送件数
8,649件	7,680件	7,737人	969件

(6) メディカルコントロール事業費

[消防管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
7,401,600	6,667,021	国庫		地方債	5,616,774
		県費		その他	

高度化する救急活動に対応するため、救急救命士が行う救急救命処置等の質を確保し、湘南地区メディカルコントロール協議会の指定する検証範囲に示される救急事案について、医師による検証を行うとともに、救命率を向上させるための知識及び技術の修得に努めた。

また、「秦野市派遣型救急ワークステーション」による救急医療体制の強化を図った。

ア 医師による検証並びに指示、指導及び助言

- ・検証件数 130 件
- ・指示、指導及び助言件数 277 件

イ 実習等受講者数

- ・救急救命士就業前病院実習 1 人
- ・救急救命士再教育病院実習 31 人
- ・気管挿管病院実習 1 人
- ・ビデオ喉頭鏡気管挿管病院実習 1 人

ウ 救急ワークステーション出動件数 184 件

(7) 災害対策資機材整備費

[消防管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
6,633,000	6,611,722	国庫		地方債	6,611,722
		県費		その他	

大規模地震の発生が危惧されるため、災害対策資機材等を活用した部隊想定訓練を実施するとともに、資機材の維持管理に努めた。

- ・移動式高圧コンプレッサーユニットの購入 1 機 4,653,000 円
- ・陽圧式化学防護服貸借 8 着 527,784 円
- ・ガス検知器貸借 5 器 321,408 円
- ・空気呼吸器及び空気ボンベの購入 2 器、2 本 781,000 円

(8) 応急手当普及啓発推進費

[消防管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,399,675	1,171,675	国庫		地方債	674,675
		県費	337,000	その他	

多くの市民が応急手当に関する知識と技術を身につけ、傷病者への積極的な応急手当が実施できるよう、心肺蘇生法や AED の使用方法を中心とした応急手当講習会を開催した。

なお、新型コロナウイルス対策のため、講習会の中止及び時間短縮や開催規模の縮小など、一部内容を変更して実施した。

ア 応急手当講習会の状況

区分	回数(回)	受講者数(人)
普通救命講習Ⅰ	8	147
普通救命講習Ⅱ	4	57
普通救命講習Ⅲ	1	12
上級救命講習	5	81
普及員講習	5	19

区 分	回数 (回)	受講者数 (人)
救命入門	24	848
その他の講習	16	203
合 計	63	1,367

イ 救急救命認定施設（救マーク）表示の状況

認定数	取消数	年度末数
2	3	305

(9) 庁舎維持管理費

[消防総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
26,036,831	25,864,719	国庫		地方債		25,864,719
		県費		その他		

消防庁舎を適正に管理し、災害拠点としての機能を維持するとともに、職場環境の衛生管理に努めた。

(10) 通信施設維持管理費

[情報指令課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
46,442,000	45,399,374	国庫		地方債		45,399,374
		県費		その他		

119番通報を受信する消防総合指令システムの機能を維持するため、指令システムの安定かつ確実な運用を図った。

また、予期せぬ停電等による重要機器の電源遮断を防止するため、無停電電源装置等の改修工事を実施した。

ア 119番通報受信状況

区 分	加入電話	携帯電話	転送
通報件数	5,553件	4,792件	487件

イ 消防総合指令システム等の維持管理

・通信料（加入電話料、携帯電話料、ビジネスイーサ回線使用料等）	12,731,894円
・消防通信総合指令装置保守委託	8,415,000円
・消防救急デジタル無線（活動波）保守委託	7,618,600円
・消防救急デジタル無線（共通波）保守委託	2,673,000円
・無線局（署活動波）再免許申請委託	72,690円
・無停電電源装置等改修工事	6,578,000円
・Net119緊急通報システムに係る機器等の賃貸借	594,000円

(11) 職員研修費

[消防総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
7,521,660	6,822,577	国庫		地方債		6,822,577
		県費		その他		

大規模自然災害や特殊災害など、多種多様化する消防業務に対応するため、専門的な知識や高度な技術等を習得するとともに、幅広い見識を持った職員の育成を図った。

- ・消防学校派遣（初任教育、専科教育等） 26人
- ・消防大学校（幹部科） 2人
- ・救急救命士養成 1人
- ・ハラスメント研修（相談員、管理職） 46人
- ・その他の研修 19人

(12) 感染防止等対策事業費（繰越明許分を含む。）

[消防管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
23,808,000	22,446,380	国庫	19,480,000	地方債		2,966,380
		県費		その他		

救急出動等において新型コロナウイルスに対応するため、感染防止等対策資器材を整備した。

- ・自動式心マッサージ器（5台） 14,575,000円
- ・感染防止衣等消耗品（感染防止衣、グローブ、マスク、消毒薬品等） 7,613,980円

(13) 火災出動等費用弁償

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
5,693,000	4,581,100	国庫		地方債		4,581,100
		県費		その他		

「秦野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例」に基づき、水火災、警戒、訓練等の職務に従事した消防団員に対し、出動手当を支給した。

- ・災害出動（7件） 4月28日ほか 延べ129人
- ・第53回神奈川県消防操法大会及び市長査閲訓練 4月から7月 180人
- ・更新車両取扱い訓練 4月4日 4人
- ・消防団幹部研修 4月11日 54人
- ・新入団員研修 4月18日 39人
- ・防災訓練 8月29日 138人
- ・打上花火警備 9月26日 23人
- ・防災研修会 11月14日 16人
- ・秋季火災予防運動 11月14日 259人
- ・歳末火災特別警戒及び激励式 12月28日 343人
- ・出初式 令和4年1月8日 274人

- ・文化財消防訓練 令和4年1月26日 4人
- ・第3分団第3部 車庫待機室引渡式 令和4年2月5日 10人
- ・春季火災予防運動 令和4年3月6日 284人

(14) 団員被服等購入費

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
1,984,000	1,974,555	国庫	51,000	地方債		987,555
		県費	936,000	その他		

「秦野市消防団の組織等に関する規則」に基づき、消防団員の安全確保のため、個人装備品を配備するとともに、防火衣及び防火長靴を整備した。

また、切創防止用防護衣を各分団部へ新たに配備した。

(15) 消防団広報事業費

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
328,000	243,761	国庫		地方債		122,761
		県費	121,000	その他		

消防団への入団促進及び組織の活性化を図るため、広報はだの「消防団特集号」を発行し、消防団のPRを実施した。

- ・広報はだの「消防団特集号」
- 掲載日 9月15日号
- 内容 消防団員の紹介等

(16) 防火水槽整備事業費

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
3,876,000	2,996,100	国庫		地方債		2,996,100
		県費		その他		

老朽化した防火水槽3基を撤去した。

ア 実績

防火水槽撤去工事（戸川地内、名古屋地内、八沢地内） 2,996,100円

イ 防火水槽設置状況（令和4年3月末日現在）

容量	基数(基)
20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	305
40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	604
60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	212
100 m ³ 以上	22
計	1,143

(17) 消火栓整備工事負担金

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
11,468,000	7,217,950	国庫		地方債		7,217,950
		県費		その他		

消火栓の更新整備及び維持管理を実施した。

ア 実績

- ・更新 3基
- ・修理 13基
- ・撤去 1基

イ 消火栓設置状況（令和4年3月末日現在）

- ・総数 2,016基

(18) 消防施設維持補修事業費（繰越明許分を含む。）

[消防総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
63,134,000	44,506,286	国庫	5,977,180	地方債		33,951,106
		県費	4,578,000	その他		

消防庁舎等における職場環境を整備するとともに、消防施設等の適切な維持管理に努めた。

また、新型コロナウイルス対策として洗濯乾燥機（5台）を購入した。

- ・消防庁舎訓練塔老朽部修繕 1,100,880円
- ・消防署鶴巻分署女性用シャワー室設置工事 5,018,706円
- ・消防署鶴巻分署屋上防水改修工事 13,735,150円
- ・消防本部直流電源装置蓄電池更新工事 2,356,200円
- ・消防署南分署訓練塔塗装等改修工事 16,318,170円

(繰越明許分)

- ・感染防止対策用洗濯乾燥機の購入 5,977,180円

(19) 消防団車庫待機室整備事業費

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
40,945,000	37,061,970	国庫		地方債	22,200,000	3,630,970
		県費	11,231,000	その他		

消防団活動拠点施設の強化を図るため、消防団車庫待機室の新築工事及び環境整備等を実施した。

- ・第3分団第3部新築工事（名古屋） 31,736,100円
- ・第1分団第7部ほか3棟トイレ改修工事 2,038,410円
- ・第2分団第4部外壁塗装工事（西大竹） 1,699,060円
- ・第1分団第7部ほか14棟テレビアンテナ設置工事 425,700円

- ・緊急情報伝達システムスピーカー撤去工事 265,100 円
- ・火の見やぐら解体撤去工事（堀川） 178,200 円
- ・消防団駐車場用地整備工事（菩提） 169,400 円

(20) 救急高度化整備事業費

[警防課・消防管理課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
32,416,000	28,528,000	国庫		地方債	22,900,000	5,628,000
		県費		その他		

消防力の充実強化を図るため、消防署大根分署の高規格救急自動車1台を更新した。

(21) 本部・署用消防車両購入費

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
57,294,000	55,969,100	国庫		地方債	51,500,000	4,469,100
		県費		その他		

消防力の充実強化を図るため、消防署鶴巻分署にポンプ付救助工作車を新たに配備するとともに、消防署大根分署の小型搬送車を更新した。

(22) 秦野市・伊勢原市共同指令センター施設等整備事業費

[消防総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
19,955,000	13,310,399	国庫		地方債	1,800,000	3,216,779
		県費	2,415,000	その他	5,878,620	

伊勢原市との消防通信指令事務の共同運用に向け、共同消防指令センターの建設に係る設計業務を実施した。

- ・秦野市・伊勢原市共同消防指令センター（仮称）基本実施設計委託 12,980,000 円

(23) 水防対策費

[警防課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
207,000	176,245	国庫		地方債		176,245
		県費		その他		

消防対策本部の運営能力の向上を図るため、災害情報の共有及び消防体制の統制等を目的に使用する災害出動指令表を更新した。

(24) 防災訓練費

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
3,296,000	767,440	国庫		地方債		767,440
		県費		その他		

新型コロナウイルス対策のため、関係機関との合同訓練会場及び23か所の広域避難場所での訓練を中止とし、各家庭や自主防災会避難場所等での訓練を実施した。

・総合防災訓練参加状況

自主防災会 11,827人

(25) 防災組織普及・啓発経費

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
9,639,000	7,685,101	国庫	3,110,000	地方債		2,920,101
		県費	1,555,000	その他	100,000	

市民や自主防災会が災害時に適切な行動が取れるよう、各種の防災講習会や講演会、研修会等を開催し、防災意識の高揚に努めた。

また、土砂災害（特別）警戒区域の再指定に伴い、ハザードマップを更新した。

ア 自主防災組織数 239団体（令和4年3月末日現在）

イ 防災講習会 開催回数 34回 参加者数 延べ1,481人

ウ 幼児防災教育 開催回数 35回 参加者数 697人

(26) 非常配備経費

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
28,955,132	26,004,794	国庫		地方債		25,778,794
		県費	226,000	その他		

大雨洪水警報等発表時の対応として、職員を配置し、災害予防・復旧等に当たった。

・非常配備と被害状況

	要因	動員回数(回)	職員動員数(人)	主な被害
4月	大雨・雷注意報 大雨・洪水警報	1	5	なし
5月	局地的豪雨	1	35	なし
7月	大雨警報、土砂災害警戒情報ほか	2	355	土砂流出、倒木、農地畦畔の崩落等
8月	大雨注意報ほか	3	227	土砂流出、農地畦畔の崩落等
9月	大雨注意報ほか	1	21	なし
10月	大雨注意報ほか	1	44	倒木、停電、家屋被害等

	要 因	動員回数(回)	職員動員数(人)	主な被害
11月	大雨注意報ほか	1	40	なし
12月	大雨注意報ほか	1	31	停電1,460軒
令和4年1月	大雪注意報ほか	1	32	路面凍結により9名負傷
3月	局地的豪雨	1	22	なし
	計	13	812	

- ・気象観測装置賃借料(旧上幼稚園、消防本部、鶴巻公民館) 2,428,800円
- ・防災気象総合情報サービス使用料 6,874,560円
- ・IoT多点観測システムによる河川水位等情報提供サービス 9,519,180円
- ・土砂災害監視システム委託 979,000円

(27) 緊急情報メール配信事業費

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
1,888,000	1,887,600	国庫		地方債		1,887,600
		県費		その他		

緊急時の情報伝達を充実させるため、携帯電話のメール機能を活用した情報配信事業について、各種講習会で周知し、登録者の増加を図った。

- ・登録者数 31,636件(令和4年3月末日現在)

(28) 防災行政無線受信装置設置事業費

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
5,751,000	4,741,000	国庫		地方債	1,700,000	671,000
		県費	2,370,000	その他		

災害時等の情報を市民に的確に伝達するため、防災行政無線屋外受信装置(固定系)について、老朽化した設備の更新等を実施した。

- ・屋外受信装置 移設1基、建替1基
- ・簡易型受信装置 新設1基

(29) デジタル移動無線整備費

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
4,119,000	4,009,185	国庫		地方債		4,009,185
		県費		その他		

災害時の救助活動や復旧活動において、迅速かつ的確に、災害規模や災害現場の状況等の情報収集を可能にする通信手段であるデジタル移動無線の維持管理を実施した。

- ・携帯用電池パック購入 30式 798,600円

・MCA 無線機配備数 99 局 (令和4年3月末日現在)

(30) 避難所環境整備事業費

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
5,915,000	5,760,623	国庫		地方債		5,760,623
		県費		その他		

アルファ化米や飲料水、液体ミルク等の備蓄品購入のほか、避難所を運営するうえで必要な資機材を配備した。

- ・食料及び飲料水 (継続配備)
アルファ化米、粉ミルク、液体ミルク、離乳食、おいしい秦野の水
- ・備品購入等
マンホールトイレ用洋式台座2式、災害備蓄用毛布の洗浄及び梱包替え (委託)

(31) 自主防災組織活性化事業補助金

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
3,999,000	3,986,240	国庫		地方債		2,685,240
		県費	1,301,000	その他		

自主防災会が災害時に備え、購入する資機材や保管用倉庫の設置に対し、補助金を交付した。

- ・補助件数 59 件 (資機材購入 55 件、防災備蓄倉庫設置 4 件)

(32) 自然災害対策事業補助金

[防災課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
6,784,000	2,558,000	国庫	464,000	地方債		2,094,000
		県費		その他		

激甚化する風水害による被害の未然防止や土砂災害等の被災者を支援するため、危険木の伐採、崩落土砂及び倒木等の撤去費用への補助制度を新設した。

また、国の交付金を活用し、平成30年6月に発生した大阪府北部地震以降、関心が高まった危険ブロック塀等の撤去経費に対し、補助した。

- ・危険木伐採工事等補助金 6 件 529,000 円
- ・崩落土砂及び倒木等撤去補助金料 3 件 300,000 円
- ・ブロック塀等防災工事補助金 13 件 1,729,000 円

(33) 自宅療養者等支援事業費

[地域安全課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
1,721,127	1,721,127	国庫	1,712,492	地方債		8,635
		県費		その他		

親族等の支援を受けることができないなど、新型コロナウイルスに罹患した自宅療養者及び濃厚接触者の不安を解消するため、食料品等を提供した。

※危機管理対策事務費からも 111,841 円を支出

(9) 教育費

○ 幼児教育の充実

令和3年3月に策定した「幼児教育・保育環境整備計画」に基づき、公私や園種の枠を超えた園小中一貫教育を推進するため、園小接続カリキュラムの作成や「乳幼児教育保育支援センター」機能の創設に向けた検討を行うとともに、大根幼稚園とひろはたこども園の一体化を実現した。

引き続き、園小接続カリキュラムの作成や「乳幼児教育保育支援センター」の創設に向けた具体的な検討を行う。

○ 学校における業務改善

令和3年5月に改訂した「学校業務改善推進方針」に基づき、スクールサポートスタッフを全ての小・中学校に配置するとともに、学校閉庁時刻の設定や学校閉庁日の拡大、部活動改革に向けた研究等、教職員の負担軽減策に取り組んだ。

引き続き、学校における働き方改革の推進を図る。

○ 教育水準の改善・向上

学力向上を図るため、埼玉県教育委員会と協定を結び、非認知能力と児童・生徒一人ひとりの学力の伸びに着目した「学びの基盤プロジェクト」を開始するとともに、北地区において寺子屋事業を開始し、放課後の学習支援体制を強化した。

引き続き、「学びの基盤プロジェクト」を軸に各校と協働して学力向上に努めるとともに、寺子屋事業の拡充に向けた環境整備を進める。

○ 小・中学校におけるICT化の推進

GIGAスクール構想の実現に向け、児童・生徒一人1台の学習用端末の円滑かつ効率的な活用を図るため、GIGAスクールサポーターを配置し、ICT利活用に向けた環境整備と教職員の負担軽減を図った。

引き続き、「子どもたち一人ひとりの学びの充実」に向けて、ICT活用のさらなる充実、強化に努める。

○ 学校施設の安全確保対策

照明器具や窓ガラスなどの非構造部材の耐震点検を実施するとともに、全ての小・中学校のつり下げ式のテレビを撤去した。

○ 小・中学校トイレ快適化第二次整備事業の推進

誰もが安心して快適に使用できるトイレを目指し、小学校3校、中学

校3校において、快適化工事を実施した。

これにより、全ての小・中学校トイレの快適化が完了した。

○ 中学校完全給食の推進

学校給食センターの建設やコンテナ配送用エレベーターの設置、食器や什器の調達などの環境整備を進め、令和3年12月から中学校完全給食を開始した。

また、保護者の給食費納入の利便性向上や教職員の多忙化解消を図るため、公会計による徴収及び管理を実施した。

さらに、秦野市農業協同組合や秦野商工会議所と連携し、学校給食における食育や地産地消の取組を推進することにより、食材の約6割を市内の生産者や商業者から調達するなど、地域経済の活性化を図った。

○ 西中学校体育館等施設の整備

多機能型体育館の整備に伴い、解体した旧西公民館等の敷地整備や周辺道路の歩道整備を実施し、事業が完了した。

○ 生涯学習の推進

あらゆる世代を対象とした質の高い学びの場の提供に努めるとともに、新型コロナウイルス対策と事業の両立を図るため、生涯学習講座や家庭教育支援講演会等を市公式YouTubeやZOOMを活用して開催した。

引き続き、講座等の申込については、パソコンやスマートフォンからの手続を推進し、対面形式と併せて、オンラインを活用した講演会を開催するなど、市民の利便性向上を図る。

○ 文化財の保護と活用

はだの歴史博物館において、古代から近代までの歴史に関する常設展示等を紹介するガイドブックを発行した。

また、国登録記念物の震生湖に石製解説板を設置したほか、国登録有形文化財（建造物）の宇山商事、五十嵐商店、緑水庵（旧芦川家住宅主屋）に解説板を設置した。

さらに、地域の魅力ある文化資源を掘り起こすため、本町四ツ角周辺の近代建築物の国登録有形文化財への登録に向けて、3件の調査を実施するとともに、市民の機運醸成のため、街歩きとはだのふるさと大使によるトークショーを実施した。

引き続き、文化財の保護及び活用の拡充を図る。

○ 公民館の改修

堀川公民館では玄関庇防水及び高圧引込設備、本町公民館では給水設備、上公民館及び北公民館ではトイレ改修といった各工事を実施し、施設の長寿命化と利用環境の向上を図った。

引き続き、老朽化した設備の計画的な改修を進めるとともに、利用環境の向上に努める。

○ 効率的な図書館運営の推進

「図書館基本計画後期計画」に基づき、各種事業を進めるとともに、窓口業務等の委託内容を見直し、効率的かつ効果的な図書館運営に取り組んだ。

また、図書館資料の個人館外貸出しの冊数等を拡大し、図書館利用者の利便性の向上を図った。

引き続き、市民ニーズを把握し、市民の読書環境の向上に努める。

(1) 教育委員会運営費

[教育総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
7,632,000	7,394,361	国庫		地方債	7,394,361
		県費		その他	

教育委員会会議を開催し、教育に関する諸問題について審議するとともに、市長と教育委員会で構成する総合教育会議を開催し、教育課題について協議するなど、より良い教育行政の推進に努めた。

- ・委員数 4人 任期 4年
- ・教育委員会会議の開催 定例12回
- ・総合教育会議の開催 2回

(2) 教育委員会表彰費

[教育総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
236,000	179,477	国庫		地方債	179,477
		県費		その他	

本市の教育、学術及びスポーツの振興に寄与し、その功績及び教育等の成果が顕著であった個人・団体を表彰した。

なお、新型コロナウイルス対策のため、表彰式は規模を縮小して実施した。

ア 教育功労者等表彰式

- ・表彰式 12月19日 メタックス体育館はだのサブアリーナ
- ・表彰状贈呈 個人 20人 団体 6団体
- ・感謝状贈呈 個人 20人

イ 教育長表彰式

- ・表彰式 12月19日 メタックス体育館はだのサブアリーナ
- ・表彰状贈呈 個人 38人 団体 2団体

(3) 学校事故見舞金

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
150,000	80,000	国庫		地方債	80,000
		県費		その他	

「秦野市学校災害見舞金贈呈要綱」に基づき、学校管理下において災害を受けた児童・生徒の保護者に対し、見舞金を贈呈した。

- ・医療見舞金 (入院) 4件 50,000円
- (歯科補綴) 1件 30,000円

(4) 教育指導運営費

[教職員課・教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
12,672,000	11,539,097	国庫		地方債	10,213,097
		県費	1,326,000	その他	

外国にルーツを持つ児童・生徒に対して日本語習得や生活習慣の定着等の支援を行うため、指導協力者を派遣した。

また、各種競技や文化的な活動に専門的知識と技能を有する市民ボランティアを指導協力者として各校に派遣し、部活動指導の充実と教職員の多忙化解消に努めた。

- ・外国人児童生徒日本語指導推進事業（指導協力者 12 人 1,286 回）
- ・中学校部活動指導協力者派遣事業（指導協力者 57 人 2,266 回）

(5) 地域学校協働活動推進事業費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,077,000	1,076,100	国庫		地方債	466,100
		県費	610,000	その他	

子どもたちの健全育成を図るため、各中学校区を単位とした「子どもを育む中学校区懇談会」を組織するとともに、学校と地域が協働し、異世代交流活動等を実施した。

また、放課後の学習機会や家庭学習の充実を図るため、北小学校及び北中学校の児童・生徒を対象に、北公民館を活用した地域に根差した寺子屋方式による放課後学習支援教室を実施した。

- ・北っ子チャレンジ教室（小学生対象） 参加者数 33 人
- ・北っ子学びの教室（中学生対象） 参加者数 16 人

(6) いじめ・不登校対策事業費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
956,000	950,195	国庫		地方債	950,195
		県費		その他	

児童・生徒の主体性を生かしたいじめ根絶運動に取り組むとともに、家庭や地域へ啓発運動を広げ、いじめ根絶を目指すため、「いじめを生まない学級・学年・学校風土づくりを目指すためには何が必要なのか」について協議した。

また、いじめ不登校対策において、心理の専門家による支援が重要となってきたことを踏まえ、いじめ対策等巡回教育相談事業として、各校からの要請に応じて臨床心理士を派遣するとともに、各小・中学校と情報交換・連携の向上を図り、学校内外でのいじめ不登校対策等に努めた。

ア いじめ対策等巡回教育相談事業（30 回）

イ 研修会等の開催

- ・いじめ問題対策調査委員会 2 回

- ・ソーシャルスキル研修会 1回
- ・いじめを考える児童生徒委員会 4回

(7) 国際理解教育推進事業費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
23,954,000	22,975,956	国庫		地方債	22,975,956
		県費		その他	

英語を母国語とする外国語指導助手（ALT）6人を全ての小・中学校に派遣した。

また、英語教育に長年取り組んでいる上智大学短期大学部の学生が、各小学校の要請に応じて、授業協力者としてオンラインで授業を支援することで、児童・生徒の英語に対する興味・関心を高めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図るなど、外国語教育の充実に努めた。

- ・英語教育推進事業 外国語指導助手（ALT）6人を派遣 派遣日数 延べ983日
- ・小学校外国語活動授業支援協力者（イングリッシュフレンド）
派遣校数 9校 派遣授業回数 延べ45回 派遣学生数 延べ249人

(8) コミュニティ・スクール研究実践事業費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
2,368,000	2,135,641	国庫		地方債	1,965,641
		県費	170,000	その他	

地域とともにある学校づくりを推進するため、末広小学校を新たに学校運営協議会設置校とし、地域への啓発や学校支援体制づくりに取り組んだ。

また、本町、南、大根、広畑の各小学校及び本町中学校を研究推進校に指定し、コミュニティ・スクール有識者による講演など、学校運営協議会の導入に向けた研修を実施した。

(9) かながわ学びづくり推進事業費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
461,000	417,000	国庫		地方債	
		県費	417,000	その他	

教職員の授業力向上を図り、児童・生徒の学力向上につなげるため、2中学校区（東・大根）を研究校に指定し、公開授業研究会等を通して、学校研究の推進に努めた。

(10) 学校業務改善推進事業費

[教職員課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
6,660,000	6,264,676	国庫		地方債	6,264,676
		県費		その他	

「学校業務改善推進方針」に基づき、学校における働き方改革を進めるため、スクールサポートスタッフを各小・中学校（9中学校区）に15人配置し、教職員の負担軽減に努めた。

(11) 学力向上推進事業費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
8,715,000	7,447,467	国庫		地方債	6,561,642
		県費		その他 885,825	

「非認知能力」と「個の伸び」に着目した「学びの基盤プロジェクト」の一環として、小学校4校・中学校1校（東小・北小・広畑小・南が丘小・東中）で、独自の学力調査とフィードバックを学校と教育委員会が協働して実施し、授業改善に取り組んだ。

また、教育行政及び学校運営に見識が深い教育支援アドバイザーを派遣し、各校の教育課題に対するアドバイスを行ったほか、小学校7校を学力向上推進研究校に指定するとともに、学力向上アドバイザーによる学習会を開催するなど、学校支援体制の強化を図った。

さらに、民間事業者と連携し、授業改善を図る授業力向上プロジェクトに継続して取り組むとともに、子どもたちの確かな学力の定着や発達の特徴、日本語習得の支援など、教育的配慮が求められる児童・生徒に対し、きめ細やかな対応を行うため、近隣の大学との連携により、小学校に支援協力者（大学生・大学院生）を派遣した。

派遣協力者	派遣校	派遣回数
日本語指導支援協力者（カレッジフレンド）	小学校4校、中学校1校	280回
発達障害児等支援協力者（メンタルフレンド）	小学校1校	19回

(12) 調査研究事務費

[教育研究所]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
504,000	441,496	国庫		地方債	315,176
		県費		その他 126,320	

教育水準の改善向上を図るため、視聴覚資料・図書・教育研究資料・指導案等の有効活用や教育課題の調査等を行った。

また、教職員のライフステージに沿って、資質向上及び指導力向上を図るための研修を実施した。さらに、緊急性の高い教育課題についての研修講座を随時開催した。

ア 教育研修事業

教育研究発表会における講演会、情報モラル研修講座、理科教育研修講座等を実施し、教職員の資質向上と学校の教育活動の充実に向けた実践的な研修の充実を図った。

イ 調査研究事業

小中一貫教育マネジメント推進研究部会、小中一貫カリキュラム推進研究部会、園小接続カリキュラム研究部会を開き、調査研究の推進に努めた。

(13) 教育支援教室事業費

[教職員課・教育研究所]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
11,141,000	10,260,893	国庫		地方債		10,260,893
		県費		その他		

教育相談等を通して、一人ひとりの抱えている課題を明確化し、個々の状態に応じた学習活動と学習意欲の高揚を図るとともに、児童・生徒が主体的に課題克服に取り組めるよう、自立に向けた段階的な支援を実施した。

また、学校・家庭・関係機関等が連携する中で、様々な立場の大人が関わるようなネットワークの整備に努めながら、子どもたちの主体性や社会性を高めるための支援を行うとともに、専任教諭と教室担当指導主事が積極的に学校を訪問し、各小・中学校での支援会議への参加のほか、保護者へのアドバイスや教員等の研修など、具体的な支援活動に努めた。

- ・学生ボランティアによる児童・生徒支援人数 延べ230人
- ・支援会議や関係機関との連絡会等への専門相談員の参加回数 92回

(14) はだのっ子アワード事業費

[教育研究所]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
282,000	280,388	国庫		地方債		260,388
		県費		その他	20,000	

秦野市に関する検定に合格した子どもたちや各地区の史跡などを巡り、学びながら感想を記入する体験マップを作成した子どもたちを表彰し、ふるさと秦野を愛する子どもたちの育成に努めた。

- ・はだのっ子アワード表彰式表彰者数 27人
- ・はだのっ子アワードふるさと秦野検定受検者数 597人
- ・はだのっ子アワード体験活動部門エリア賞認定者数 40人
- ・はだのっ子アワード読書活動部門認定証発行数 198枚

(15) 学校環境管理システム事業費

[教育研究所]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
36,000	35,766	国庫		地方債		35,766
		県費		その他		

環境負荷の低減及び資源循環型の持続可能な社会を目指し、環境配慮行動意識の高い子どもたちを育成するため、環境活動「エコキッズはだの」を実施した。事業の推進に当たっては、PDCA サイクルの概念に基づく推進委員による点検・評価を取り入れるとともに、環境活動の工夫・発展に向け、東海大学との連携を図った。

(16) 学校 ICT 推進事業費

[教育研究所]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
9,456,000	9,444,160	国庫	3,162,000	地方債		6,282,160
		県費		その他		

2人のICT支援員がそれぞれの専門性を生かし、校務支援ソフトの運用、タブレット端末の活用など、延べ156回の学校訪問によるICT活用の推進に係る業務支援を実施した。

(17) 訪問型個別支援事業費

[教育総務課・教職員課・教育研究所]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
8,914,000	7,869,332	国庫	86,000	地方債		7,749,332
		県費	34,000	その他		

教育現場において実務経験がある元教職員、教職を志す学生など、児童・生徒の発達支援に関する知識及び経験を有する多くの大人が支援員として関わることで、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援の充実を図った。

また、スクールソーシャルワーカーの配置により、校内のケース会議等への出席や保護者との面談を随時行うことで、学校や関係機関と連携した家庭への支援の充実を図った。

(18) 小学校運営費及び小学校教育費

[教育総務課・学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
86,021,231	76,128,179	国庫		地方債		75,479,579
		県費		その他	648,600	

小学校教育に必要な教材教具等を購入し、教育内容の充実を図った。

・校務用消耗品費	17,150,554円
・卒業記念品、運動会等行事用賞品代	1,499,103円
・校務用備品購入費等	6,827,645円
・義務教育教材消耗品費・修繕料	27,885,981円
・義務教育教材備品購入費	2,497,297円
・教師用教科書・指導書等	11,179,618円
・学校司書報酬等	7,331,159円
・修学旅行キャンセル等費用	1,295,015円
・その他	461,807円

(19) 小学校 ICT 環境整備事業費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
77,616,824	76,940,371	国庫	1,106,000	地方債		75,834,371
		県費		その他		

情報教育の推進及び教職員等の事務の効率化を目的に、パソコン（550 台）、タブレット（113 台）及び大型テレビモニター（260 台）を計画的に配置・運用した。

また、国の GIGA スクール構想に伴い、令和 2 年度に導入した児童一人 1 台の学習用端末（8,347 台）及び校内ネットワークの維持管理を行い、学校教育の情報化の推進に努めた。

・校内無線ネットワーク保守費用	17,688,000 円
・学習用端末保守費用	9,730,490 円
・タブレット端末（iPad）経費	3,186,744 円
・学校用サーバ類賃貸借料	22,421,680 円
・校務用パソコン等賃貸借料	16,376,375 円
・校務用ネットワーク維持管理費用	4,300,725 円
・学校配当消耗品費	1,950,137 円
・その他事務費	1,286,220 円

(20) 小学校教育支援助手派遣事業費

[教職員課・教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
70,656,053	68,126,704	国庫		地方債		68,126,704
		県費		その他		

全ての小学校に 57 人の教育支援助手を派遣し、児童への教科指導による基礎的・基本的事項の内容理解及び定着を図るとともに、基本的な生活習慣の形成など、学校への適応力の向上に努め、支援体制の充実を図った。

(21) 通学路安全対策事業費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源				一般財源
300,000	297,900	国庫		地方債		297,900
		県費		その他		

警察官 OB 等をスクールガードリーダーとして派遣し、地域ボランティアの養成、危機管理体制に対する指導・助言や定期的な園・学校内外の巡回パトロールを行い、安全・安心な体制づくりを推進した。

・スクールガードリーダー報償費	297,900 円
-----------------	-----------

(22) 児童健康管理経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
7,905,000	7,882,922	国庫	1,016,117	地方債		6,866,805
		県費		その他		

健康診断を実施し、疾病の予防処置又は治療指示を行うことにより、児童の健康の保持増進を図った。

検診名	受検者数(人)	金額(円)	対象者
尿検査	7,622	1,928,366	児童全員
心臓検診	1,221	2,216,115	1年生全員
心臓精密検査	44	545,952	上記抽出者
結核精密検査	10	54,780	高蔓延国からの帰国者及び自覚症状がある者
就学時健康診断	1,167	1,842,500	令和4年度小学校入学予定者
その他	-	1,295,209	需用費等一式
計		7,882,922	

(23) 小学校教職員健康管理経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
6,618,920	5,673,030	国庫		地方債		5,673,030
		県費		その他		

教職員の健康の保持増進のため、健康診断を実施した。

また、心的健康の保持増進のため、ストレスチェック診断を実施し、メンタルヘルス不調の未然防止に努めた。

ア 教職員健康診断

検診名	受検者数(人)	金額(円)	対象者
健康診断	423	4,187,700	教職員全員
消化器検診	141	651,420	教職員(35歳以上)
大腸がん検診	227	349,580	教職員(35歳以上)
HBS抗体検査	2	3,080	学校巡回歯科衛生士
特定健康診査	203	22,330	教職員(40歳以上74歳以下)
子宮がん検診	39	154,440	正規及び臨任の女性教職員(20歳以上)
乳がん検診	16	80,960	正規及び臨任の女性教職員(40歳以上)
計		5,449,510	

※会計年度任用職員を含み、人間ドック受診者を除く。

イ ストレスチェック診断

対象者数	受診者数	金額	対象者
678人	632人	223,520円	県費及び市費の全教職員

(24) 小学校災害共済掛金

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
7,156,000	7,069,640	国庫		地方債	7,069,640
		県費		その他	

学校の管理下で発生した事故等に対して必要な給付を行うため、独立行政法人日本スポーツ振興センター保険に加入し、適切な保障の補完に努めた。

ア 対象児童数 7,652人

イ 日本スポーツ振興センターからの給付

医療費 230件 1,587,192円

・災害発生状況

内訳	件数(件)	構成比(%)	主な内容
負傷	127	95.5	
休憩時間中	49	36.9	昼食休憩時間中
各教科(科目)	47	35.3	保健体育
特別活動(学校行事を除く。)	11	8.3	日常の清掃
通学中	18	13.5	下校中
学校行事	2	1.5	運動会・体育祭
疾病	6	4.5	
計	133	100.0	

(25) 準要保護児童眼鏡購入費扶助費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
516,080	516,080	国庫		地方債	516,080
		県費		その他	

準要保護家庭の児童が学習に取り組むうえで、医師から眼鏡が必要であると判断された場合に、眼鏡の購入に要した費用に対して必要な援助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図った。

・眼鏡購入費 38件 516,080円

(26) 小学校給食調理経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
275,444,766	269,862,189	国庫		地方債	267,296,813
		県費	2,565,376	その他	

自校方式による、安全で安心な学校給食の調理、提供に努めた。

・給食調理の状況

児童数 7,652人(5月1日現在)

給食実施日数 185 日/年
 調理員数（調理委託校を除く。） 21 人（うち会計年度任用職員 9 人）
 直営校（4 校） 東、上、広畑、南が丘
 委託校（9 校） 本町、堀川、大根、南、鶴巻、西、渋沢、北、末広

(27) 小学校給食設備等維持管理費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
78,537,718	70,882,932	国庫		地方債	33,727,159
		県費	112,433	その他	

安全で安心な学校給食を提供するため、設備の維持管理や検査等を実施した。

- ・燃料費（プロパンガス 8 校、都市ガス 5 校） 19,369,297 円
- ・備品類の修繕 5,765,480 円
- ・給食用備品の購入 16,688,940 円
- ・食材の検査等 61,050 円
- ・包丁研磨業務等 711,065 円
- ・生ごみ処理機賃借料 2,425,770 円
- ・ガス等保守点検委託業務 1,933,580 円
- ・設備等清掃委託業務 3,044,250 円
- ・その他委託料 529,100 円
- ・南小学校給食調理室大規模改修工事 20,354,400 円

(28) 準要保護児童給食費扶助費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
39,015,000	38,999,312	国庫		地方債	38,999,312
		県費		その他	

準要保護家庭に給食費を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

- ・支給者数 902 人

(29) 小学校教育研究費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,300,000	1,300,000	国庫		地方債	1,300,000
		県費		その他	

特色ある教育活動の展開や魅力ある教育課程の編成に向けた研究を推進するため、全校の教育研究会に教育課程の研究を委託した。

(30) 小学校理科教育振興費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
2,030,000	1,750,628	国庫	875,000	地方債		875,628
		県費		その他		

理科教育を通して、科学的な知識及び技能を習得するため、「理科教育振興法」に基づく理科教育用の教材備品を整備し、教育設備の充実を図った。

- ・12校 教材用てんびん、掛図、サイエンススタンドほか

(31) 小学校特別支援学級経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
10,458,000	9,812,384	国庫	4,052,000	地方債		5,760,384
		県費		その他		

特別支援学級における教育の充実を図るため、教材教具を整備するとともに、通学する児童の保護者に対して給食費や学用品費などを援助し、経済的負担の軽減を図った。

ア 教材教具購入費等	13校	1,707,514円
イ 特別支援教育就学奨励費		8,104,870円
・学校給食費	244人	5,368,753円
・通学費	3人	69,534円
・修学旅行費	39人	420,554円
・学用品等購入費	233人	1,057,699円
・新入学児童学用品費	32人	777,666円
・ことばの教室通級費	40人	91,244円
・校外活動等参加費	133人	100,420円
・オンライン通信費	106人	219,000円

(32) 特別支援教育推進費

[教職員課・教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
66,677,000	61,676,764	国庫		地方債		61,676,764
		県費		その他		

在籍児童・生徒の円滑な学習活動を支援する介助員 54 人を肢体不自由学級、知的障害学級及び自閉症・情緒障害学級に配置し、自立に向けての成長発達を促進した。

派遣校	介助を必要とする児童・生徒数	介助員配置人数	在籍学級種別					
			知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	病弱	弱視	難聴
本町小学校	55人	7人	○	○	○		○	
東小学校	22人	3人	○	○				
南小学校	47人	5人	○	○		○		○
北小学校	39人	5人	○	○	○	○	○	
大根小学校	30人	4人	○	○				
西小学校	19人	3人	○	○	○			
広畑小学校	10人	2人	○	○				○
渋沢小学校	49人	6人	○	○	○	○		
末広小学校	18人	3人	○	○				
南が丘小学校	26人	4人	○	○			○	
堀川小学校	20人	3人	○	○				
鶴巻小学校	29人	5人	○	○				
本町中学校	42人	3人	○	○	○	○		
西中学校	37人	1人	○	○		○		
計	443人	54人	14校	14校	5校	5校	3校	2校

(33) 要保護準要保護児童就学援助費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
31,901,000	28,030,385	国庫	5,465,008	地方債		22,565,377
		県費		その他		

要保護及び準要保護家庭に学用品費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

また、新小学1年生の保護者に対して助成している入学学用品費について、必要とする時期に速やかに助成できるよう、入学前支給を実施した。

・援助の内容

項目	人数(人)	金額(円)
学用品費等	903	12,241,076
新入学児童学用品費(令和2年度入学後支給)	32	1,633,920
新入学児童学用品費(令和3年度入学前支給)	99	5,054,940
修学旅行費	164	3,689,579
通学費	3	30,870
オンライン通信費	865	5,380,000
計	—	28,030,385

(34) 小学校施設改修事業費（繰越明許分を含む。）

[教育総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
122,654,000	81,811,000	国庫	30,183,000	地方債	48,400,000	
		県費		その他	3,228,000	

快適な学習環境及び学校施設の機能を維持するため、国の交付金を活用し、学校施設のグラウンド整備工事及び擁壁改修工事を実施した。

また、寄附金を活用し、小学校にジャングルジム及びブランコの設置工事を実施した。

工事内訳

- ・南小学校ジャングルジム設置工事 1,298,000 円
- ・西小学校ブランコ更新工事 1,181,000 円

(繰越明許分)

- ・大根小学校南西側斜面擁壁改修工事 47,483,700 円
- ・大根小学校南西側斜面擁壁改修工事（その2） 1,298,000 円
- ・東小学校グラウンド整備工事 30,550,300 円

(35) 小学校トイレ快適化第二次整備事業費

[教育総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
20,070,000	17,999,190	国庫		地方債		
		県費		その他	17,999,190	

清潔で快適な教育環境を創出するため、学校トイレの洋式化工事を実施した。

工事内訳

- ・南が丘小学校 8,480,251 円
- ・北小学校 6,658,989 円
- ・上小学校 2,859,950 円

(36) 中学校運営費及び中学校教育費

[教育総務課・学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
73,001,920	65,628,272	国庫		地方債		65,628,272
		県費		その他		

中学校教育に必要な教材教具等を購入し、教育内容の充実を図った。

- ・校務用消耗品費 9,763,699 円
- ・卒業記念品、運動会等行事用賞品代 1,847,221 円
- ・校務用備品購入費等 7,280,873 円
- ・義務教育教材消耗品費・修繕料 19,166,381 円
- ・義務教育教材備品購入費 1,704,925 円
- ・教師用教科書・指導書等 15,201,934 円

- ・学校司書報酬等 2,673,179 円
- ・修学旅行キャンセル等費用 7,889,785 円
- ・その他 100,275 円

(37) 中学校 ICT 環境整備事業費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
59,348,558	58,450,533	国庫	766,000	地方債	57,684,533
		県費		その他	

情報教育の推進及び教職員等の事務の効率化を目的に、パソコン（358 台）、タブレット端末（389 台）及び大型テレビモニター（115 台）を計画的に配置・運用した。

また、国の GIGA スクール構想に伴い、令和 2 年度に導入した生徒一人 1 台の学習用端末（4,148 台）及び校内ネットワークの維持管理を行うとともに、教師用の学習用端末（76 台）を追加配備し、学校教育の情報化の推進に努めた。

- ・校内無線ネットワーク保守費用 12,012,000 円
- ・学習用端末保守費用 5,201,030 円
- ・学習用端末（教師用）追加購入費用 3,373,260 円
- ・タブレット端末（iPad）経費 5,096,285 円
- ・学校用サーバ類賃貸借料 15,522,720 円
- ・校務用パソコン等賃貸借料 11,911,907 円
- ・校務用ネットワーク維持管理費用 2,977,425 円
- ・学校配当消耗品費 1,425,675 円
- ・その他事務費 930,231 円

(38) 中学校教育支援助手派遣事業費

[教職員課・教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
11,565,964	10,408,013	国庫		地方債	10,408,013
		県費		その他	

全ての中学校に 9 人の教育支援助手を派遣し、生徒への教科指導による基礎的・基本的事項の内容理解及び定着を図るとともに、基本的な生活習慣の形成など、学校への適応力の向上に努め、支援体制の充実を図った。

(39) 生徒健康管理経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
4,783,000	4,702,368	国庫		地方債	4,702,368
		県費		その他	

健康診断を実施し、疾病の予防処置又は治療指示を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図った。

検診名	受検者数(人)	金額(円)	対象者
尿検査	4,032	1,020,096	生徒全員
心臓検診	1,388	2,519,220	1年生全員
心臓精密検査	44	523,952	上記抽出者
結核精密検査	1	5,478	高蔓延国からの帰国者及び自覚症状がある者
その他	-	633,622	需用費等一式
計		4,702,368	

(40) 中学校教職員健康管理経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
3,074,000	2,775,080	国庫		地方債	2,775,080
		県費		その他	

教職員の健康の保持増進のため、健康診断を実施した。

また、心的健康の保持増進のため、ストレスチェック診断を実施し、メンタルヘルス不調の未然防止に努めた。

ア 教職員健康診断

検診名	受検者数(人)	金額(円)	対象者
健康診断	206	2,039,400	教職員全員
消化器検診	69	318,780	教職員(35歳以上)
大腸がん検診	89	137,060	教職員(35歳以上)
特定健康診査	71	7,810	教職員(40歳以上74歳以下)
子宮がん検診	23	91,080	正規及び臨任の女性教職員(20歳以上)
乳がん検診	9	45,540	正規及び臨任の女性教職員(40歳以上)
計		2,639,670	

※会計年度任用職員を含み、人間ドック受診者を除く。

イ ストレスチェック診断

対象者数	受診者数	金額	対象者
345人	331人	135,410円	県費及び市費の全教職員

(41) 中学校災害共済掛金

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
3,834,000	3,765,355	国庫		地方債	3,765,355
		県費		その他	

学校の管理下で発生した事故等に対して必要な給付を行うため、独立行政法人日本スポーツ振興センター保険に加入し、適切な保障の補完に努めた。

ア 対象生徒数 4,093人

イ 日本スポーツ振興センターからの給付
医療費 293件 2,796,581円

・災害発生状況

内 訳	件数(件)	構成比(%)	うち主な内容
負 傷	129	97.0	
課外行事 (部活動等)	68	51.1	体育部活動
各教科 (科目)	45	33.8	保健体育
休憩時間中	9	6.8	昼食時休憩時間中
学校行事	3	2.3	運動会
特別活動 (学校行事を除く。)	1	0.7	学級 (ホームルーム) 活動
通学中	3	2.3	登校中
疾 病	4	3.0	
計	133	100.0	

(42) 準要保護生徒眼鏡購入費扶助費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
1,019,000	959,625	国庫		地方債	959,625
		県費		その他	

準要保護家庭の生徒が学習に取り組むうえで、医師から眼鏡が必要であると判断された場合に、眼鏡の購入に要した費用に対して必要な援助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図った。

・眼鏡購入費等 70件 959,625円

(43) 準要保護生徒給食費扶助費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
11,085,000	8,596,696	国庫		地方債	8,596,696
		県費		その他	

準要保護家庭に給食費を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

・支給者数 478人

(44) 中学校完全給食推進事業費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
138,902,580	137,921,201	国庫		地方債	51,782,453
		県費		その他 86,138,748	

学校給食センターの施設整備が10月に完了し、12月の給食開始に向け、必要となる消耗品や備品を購入した。

また、給食開始前に学校シミュレーションを2回実施し、給食事業のスムーズな導入に努めた。

ア 中学校給食実施協議会経費（1回開催）	7,800 円
イ 学校給食センター運営事業（開業準備業務分）	31,500,000 円
ウ 口座振替セットアップ委託業務等	274,653 円
エ 学校給食センター運営事業（工事監理業務分）	20,000,000 円
オ 給食用消耗品（食器等）購入費	38,746,348 円
カ 給食用備品（食缶等）購入費	46,916,100 円
キ 栄養管理システム購入費（2台）	476,300 円

(45) 中学校教育研究費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
431,000	430,200	国庫		地方債	430,200
		県費		その他	

特色ある教育活動の展開や魅力ある教育課程の編成に向けた研究を推進するため、全校の教育研究会に教育課程の研究を委託した。

(46) 中学校理科教育振興費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
3,396,000	2,721,191	国庫	1,360,000	地方債	1,361,191
		県費		その他	

理科教育を通して、科学的な知識及び技能を習得するため、「理科教育振興法」に基づく理科教育用の教材備品を整備し、教育設備の充実を図った。

- ・8校 顕微鏡、電磁力実験器、力学台車ほか

(47) 中学校特別支援学級経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
5,464,000	3,727,859	国庫	1,329,000	地方債	2,398,859
		県費		その他	

特別支援学級における教育の充実を図るため、教材教具を整備するとともに、通学する生徒の保護者に対して学用品費や通学費などを援助し、経済的負担の軽減を図った。

ア 教材教具購入費等	9校	1,071,874 円
イ 特別支援教育就学奨励費		2,655,985 円
・学校給食費	103人	838,800 円
・通学費	7人	170,560 円
・修学旅行費	3人	81,248 円
・学用品等購入費	95人	653,517 円
・新入学生徒学用品費	32人	739,774 円

- ・校外活動等参加費 59人 67,586円
- ・オンライン通信費 67人 104,500円

(48) 要保護準要保護生徒就学援助費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
37,625,000	27,419,611	国庫	3,836,785	地方債	23,582,826
		県費		その他	

要保護及び準要保護家庭に学用品費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

また、新中学1年生の保護者に対して助成している入学学用品費について、必要とする時期に速やかに助成できるよう、入学前支給を実施した。

・援助の内容

項目	人数(人)	金額(円)
学用品費等	530	12,778,041
新入学生徒学用品費(令和2年度入学後支給)	16	960,000
新入学生徒学用品費(令和3年度入学前支給)	155	9,300,000
修学旅行費	10	530,260
通学費	3	21,310
オンライン通信費	524	3,830,000
計	—	27,419,611

(49) 運動部活動顧問派遣事業費

[教職員課・教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,373,000	1,154,535	国庫		地方債	416,535
		県費	738,000	その他	

国が推進する部活動の支援策として、各競技の専門的な技術指導が可能な指導者を部活動指導員として3人派遣し、部活動の活性化を図るとともに、生徒・保護者のニーズに対応した。

- ・派遣校数 3校(北中学校、大根中学校、南が丘中学校)

(50) 中学校施設改修事業費(繰越明許分を含む。)

[教育総務課・学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源			一般財源	
521,840,000	417,576,720	国庫	127,388,000	地方債	243,000,000	39,745,620
		県費	7,130,000	その他	313,100	

快適な学習環境及び学校施設機能を維持するため、経年劣化が進行している学校施設の受変電設備更新工事やインターホン設備の修繕工事等を実施した。

また、国の交付金を活用し、4校のエレベーター設置工事及び工事監理委託を実施した。

さらに、給食用コンテナがスムーズに搬入できるよう、各校の給食運搬口の建具等の改修及び本町中学校既存エレベーターの床の耐震補強工事を実施した。

ア 委託内訳

- ・ 渋沢中学校土砂災害特別警戒区域測量委託業務 3,440,800 円
(繰越明許分)
- ・ 南中学校ほか3校昇降機設置工事監理委託業務 4,402,200 円

イ 工事内訳

- ・ 北中学校受変電設備更新工事 25,562,900 円
- ・ 大根中学校インターホン設備修繕工事 968,000 円
- ・ 本町中学校昇降機耐震補強工事 4,418,700 円
- ・ 北中学校給食運搬口改修工事 1,976,040 円
- ・ 鶴巻中学校給食運搬口改修工事 7,234,920 円
- ・ 渋沢中学校給食運搬口改修工事 2,855,160 円
- ・ 大根中学校玄関タイル補修工事 215,600 円
- ・ 南中学校玄関タイル補修工事 203,500 円
(繰越明許分)
- ・ 西中学校(北棟)昇降機設置工事 76,499,500 円
- ・ 西中学校(南棟)昇降機設置工事 78,111,000 円
- ・ 大根中学校昇降機設置工事 68,143,900 円
- ・ 南中学校昇降機設置工事 68,432,100 円
- ・ 東中学校昇降機設置工事 75,112,400 円

(51) 中学校トイレ快適化第二次整備事業費

[教育総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
25,380,000	21,455,280	国庫		地方債		
		県費		その他	21,455,280	

清潔で快適な教育環境を創出するため、学校トイレの洋式化工事を実施した。

工事内訳

- ・ 大根中学校 12,834,732 円
- ・ 南中学校 6,712,496 円
- ・ 東中学校 1,908,052 円

(52) 西中学校体育館等施設整備事業費(逓次繰越分を含む。)

[教育総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
344,126,507	140,962,020	国庫		地方債	70,000,000	42,431,477
		県費		その他	28,530,543	

西中学校多機能型体育館の整備に伴い、解体した旧西公民館敷地の整備及び周辺道路の歩道整備等を実施した。

- ア テニスコート賃借料 264,000 円

イ 工事内訳

- ・多機能型体育館等整備工事（外構その1） 52,839,700 円
- ・多機能型体育館等整備工事（外構その2） 42,808,857 円
- ・多機能型体育館等整備工事（プール付属棟）
（遞次繰越分） 16,518,920 円
- ・多機能型体育館等整備工事（外構その2） 28,530,543 円

(53) 幼稚園教育研究費

[教育指導課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
150,000	149,500	国庫		地方債	149,500
		県費		その他	

魅力ある教育活動や小・中学校、地域及び家庭との連携について研究を進め、特色ある園づくりに向けた教育活動の充実を図るため、各幼稚園等教育研究会に教育課程の研究を委託した。

(54) 幼稚園型一時預かり事業費

[教育総務課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
12,237,000	10,551,934	国庫	3,086,231	地方債	2,520,164
		県費	2,753,615	その他 2,191,924	

公立幼稚園における子育て支援策として、保護者の就労やリフレッシュに対応するため、全幼稚園において長期休業期間中も実施するなど、安定的かつ継続的な運営に努めた。

- ・園児数 385 人（5月1日現在）
- ・利用者数 延べ 1,716 人（月当たり平均利用者数 18 人/園）
- ・利用回数 延べ 8,782 回（月当たり平均利用回数 91 回/園）

(55) 幼稚園運営事務費

[教育総務課・学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
82,612,000	62,049,962	国庫	348,702	地方債	61,528,860
		県費		その他 172,400	

幼稚園の円滑な管理運営と子育て支援の推進に努めた。

- ・市立幼稚園 8 園（5月1日現在）
- ・園児数 385 人（5月1日現在）
- ・職員数 教諭 40 人（うち園長 8 人、副園長 1 人、教頭 7 人） 加配教諭等 21 人
（5月1日現在）

(56) 幼児健康管理経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
177,000	153,466	国庫		地方債	153,466
		県費		その他	

健康診断を実施し、疾病の予防処置又は治療指示を行うことにより、園児の健康の保持増進を図った。

検診名	受検者数(人)	金額(円)	対象者
尿検査	383	96,899	園児全員
その他	—	56,567	検診器具滅菌委託
計		153,466	

(57) 幼稚園教職員健康管理経費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,233,000	848,320	国庫		地方債	848,320
		県費		その他	

教職員の健康の保持増進のため、健康診断を実施した。

また、心的健康の保持増進のため、ストレスチェック診断を実施し、メンタルヘルス不調の未然防止に努めた。

ア 教職員健康診断

検診名	受検者数(人)	金額(円)	対象者
健康診断	49	485,100	教職員全員
消化器検診	18	83,160	教職員(35歳以上)
大腸がん検診	29	44,660	教職員(35歳以上)
特定健康診査	31	3,410	教職員(40歳以上74歳以下)
子宮がん検診	19	75,240	正規及び臨任の女性教職員(20歳以上)
乳がん検診	12	60,720	正規及び臨任の女性教職員(40歳以上)
計		752,290	

※会計年度任用職員を含み、人間ドック受診者を除く。

イ ストレスチェック診断

対象者数	受診者数	金額	対象者
75人	73人	96,030円	県費及び市費の全教職員

(58) 幼稚園災害共済掛金

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
114,000	113,145	国庫		地方債	113,145
		県費		その他	

幼稚園の管理下で発生した事故等に対して必要な給付を行うため、独立行政法人日本スポーツ振興センター保険に加入し、適切な保障の補完に努めた。

- ・対象園児数 385 人

(59) 要保護準要保護幼児給食費扶助費

[学校教育課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
368,000	217,722	国庫		地方債	217,722
		県費		その他	

要保護及び準要保護家庭に給食費（牛乳代及び副食費（上幼稚園対象））を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

- ・支給者数 19 人

(60) 生涯学習講座開催経費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
414,000	244,308	国庫		地方債	244,308
		県費		その他	

現代的・社会的・公共的課題をテーマとして、大学教授等の専門家を講師に招き、「はだの生涯学習講座（基礎講座）」を開催した。

- ・講座回数 8 回
- ・参加者数 延べ 229 人

(61) 生涯学習推進費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,116,000	686,558	国庫		地方債	605,558
		県費	81,000	その他	

家庭教育の在り方や家族の心のつながりを見つめ直す機会を提供した。

ア 家庭での日常的な出来事を川柳で表現し、親子・家庭のきずなを深めるため、「第 12 回秦野市親子川柳大会」を開催した（応募作品 989 句）。

イ 「家庭教育支援講演会」に森山沙耶氏（ネット・ゲーム依存予防回復支援 MIRA-i 臨床心理士）を招き、市公式 YouTube 「はだのモーピク」へ動画を掲載し、応募者に限定して配信した。（視聴回数約 110 回）

(62) 市史資料保管活用費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
5,063,000	4,501,945	国庫		地方債	4,324,855
		県費		その他 177,090	

歴史資料の整理保管に努めるとともに、所蔵資料を活用し、本市の歴史的発展過程を広く紹介した。

ア 秦野たばこ祭メモリアル事業として、「秦野たばこ資料展」を開催した。

イ 寄贈資料等の修理やデジタル化を実施した。

ウ 所蔵図書、新聞記事の目録を作成した。

エ 所蔵写真のデジタル化を行った。

(63) 文化財普及啓発経費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
4,273,720	3,927,817	国庫	1,350,000	地方債	1,572,117
		県費	978,000	その他 27,700	

文化財への市民理解を深めるため、文化財等の展示とともに、文化財学習の機会を提供した。

ア 文化財保護強調週間に合わせて、10月30日から11月3日まで、所有者の協力を得て、はだの歴史博物館で市指定重要文化財の特別公開を実施した。

イ 市内の歴史文化を紹介する「はだの歴史博物館企画展」を6回開催した。

- ・「大安吉日祝いのとき」（来場者数 延べ10,865人）
- ・「縄文時代のムラ-中後期集落の様子-」（来場者数 延べ9,685人）
- ・「村の暮らしと「山」」（来場者数 延べ7,178人）
- ・「博物館資料の紹介-はじめまして新資料です！-」（来場者数 延べ3,468人）
- ・「絵図で旅する江戸時代の秦野」（来場者数 延べ7,347人）
- ・「母ちゃん、頑張る！」（来場者数 延べ9,512人）

ウ 市内の歴史文化を学ぶため、専門家を講師に招き、「ミュージアムさくら塾」を4回開催した。

エ はだのふるさと大使を招いて市内の文化財をめぐる「青空レクチャー」を開催した。

オ 市内の国登録文化財4件（震生湖、宇山商事、五十嵐商店、緑水庵）に解説看板を設置した。

(64) 文化財保存管理経費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
1,858,000	1,486,450	国庫		地方債	1,486,450
		県費		その他	

市民共有の財産である文化財の指定等を行ったうえで、より良い状態で後世に伝えるため、市が所蔵する文化財を適切に管理するとともに、所有者に対し、保存管理のための奨励金等を交付した。

ア 文化財保存対策

- ・二子塚古墳、念仏塚古墳草刈
- ・源実朝公御首塚樹木剪定

イ 指定文化財保存管理奨励金等

区 分	対象 (件)
保存管理奨励金	25
史跡清掃管理謝礼	1
計	26

ウ 市指定文化財の状況

区 分	対象 (件)
有形 (重要) 文化財 (建造物)	4
有形 (重要) 文化財 (絵画)	1
有形 (重要) 文化財 (彫刻)	14
有形 (重要) 文化財 (考古資料)	4
有形文化財 (民俗資料)	3
無形文化財 (民俗資料)	3
史 跡	3
天然記念物	4
計	36

(65) 博物館資料・文化財調査整理経費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
8,035,370	7,671,878	国庫	1,000,000	地方債		6,341,878
		県費	330,000	その他		

未周知の埋蔵文化財を掘り起こし、保護するため、埋蔵文化財の試掘・確認調査を実施した(調査件数 20 件)。

また、発掘調査報告書「秦野の遺跡 14 鶴巻上ノ原遺跡」を刊行した。

(66) 桜土手古墳公園・はだの歴史博物館管理運営費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左 の 財 源 内 訳				
		特定財源			一般財源	
11,884,326	11,544,645	国庫		地方債		11,006,457
		県費		その他	538,188	

桜土手古墳公園・はだの歴史博物館の適切な管理運営及びその充実に努めた。

また、はだの歴史博物館展示ガイドブックを刊行した。

- ・入館者数 延べ41,037人(開館日数358日)

(67) 公民館活動費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
2,705,000	2,284,981	国庫		地方債	1,802,541
		県費		その他 482,440	

教育、芸術及び文化に関する各種事業を行い、市民に学習機会を提供するとともに、市民の自主的な学習活動の支援に努めた。

なお、新型コロナウイルス対策のため、8月2日から10月24日まで自主事業の開催を自粛した。

また、公民館の閉館時間を4月1日から10月24日までは、午後10時から午後8時まで、令和4年1月29日から3月21日までは、午後10時から午後9時までに短縮した。

ア 公民館の自主事業 (11館) 事業数304事業 事業日数661日 参加者数 延べ13,067人

イ 公民館利用状況 開館日数：347日

施設名(部屋数)	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率(%)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
西公民館(5)	1,735	1,502	86.6	2,873	26,821
上公民館(5)	1,735	601	34.6	967	9,257
南公民館(6)	2,082	1,459	70.1	2,868	29,482
北公民館(6)	2,082	1,413	67.9	2,362	23,961
大根公民館(5)	1,735	1,296	74.7	2,600	24,660
東公民館(6)	2,082	1,127	54.1	1,787	18,634
鶴巻公民館(6)	2,082	1,347	64.7	2,716	26,502
渋沢公民館(6)	2,082	1,243	59.7	1,930	19,799
本町公民館(7)	2,429	1,882	77.5	3,663	42,868
南が丘公民館(7)	2,429	1,719	70.8	3,146	29,599
堀川公民館(6)	2,082	1,676	80.5	3,717	32,344
計	22,555	15,265	67.7	28,629	283,927

※利用可能日数は、開館日数に部屋数()内を乗じたもの(児童室を除く。)

(68) 公民館営繕工事費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
23,400,000	19,671,520	国庫		地方債	19,671,520
		県費		その他	

公民館の計画的な改修を行い、施設の長寿命化を図るとともに、安全で快適な利用環境とするため、施設整備を実施した。

工事内容

- ・公民館トイレ改修工事(上、北) 11,056,320円
- ・堀川公民館高圧引込設備更新工事 2,589,400円
- ・堀川公民館玄関底防水工事 4,815,800円
- ・本町公民館給水ポンプ更新工事 1,210,000円

(69) 放課後子ども教室実施経費

[生涯学習課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
594,000	372,895	国庫		地方債	130,295
		県費	215,000	その他	

地域社会の中で、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを目的とし、地域住民の参画を得て、放課後の安全・安心な子どもの活動拠点の確保を図り、勉強、スポーツ、文化活動や地域住民との交流などの取組を実施した。

- ・開催回数 15回
- ・登録児童数 55人 (参加者数 延べ396人)
- ・登録ボランティア 52人 (参加者数 延べ77人)

(70) 図書館施設維持管理費

[図書館]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
15,807,634	15,639,366	国庫		地方債	15,587,955
		県費		その他	

老朽化等により不具合が生じていた非常用通報設備、館内LAN設備、職員用トイレ水栓及び音響機器を修繕した。

また、図書館施設の適切な維持管理を実施し、安全で快適な利用環境の整備に努めた。

- ・光熱水費 5,935,691円
- ・修繕料 1,045,000円
- ・委託料 7,504,566円
- ・その他施設管理費 1,154,109円

(71) 図書館資料等購入経費

[図書館]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
16,917,580	16,507,043	国庫		地方債	16,497,483
		県費		その他	

市民の幅広い生涯学習活動に資するよう、利用者の要望や地域の実情等に留意し、多様な分野の図書、記録、その他必要な資料の整備に努めた。

- ・図書購入 一般書 3,756冊 児童書 2,944冊
- ・新聞、雑誌購入 新聞 21タイトル 雑誌 143タイトル
- ・新聞等の製本 新聞 3タイトル その他 1タイトル
- ・図書所蔵状況 蔵書冊数 519,444冊

(72) 読書活動推進事業費

[図書館]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
6,260,423	5,086,377	国庫		地方債		4,966,377
		県費		その他	120,000	

市民の学習活動に資するよう、時節に応じた資料の紹介、展示等をするとともに、子どもの読書への関心を高めるため、学校見学の受入れや団体貸出等を実施し、読書活動の推進を図った。

- ・入館者数 延べ203,799人
- ・貸出登録者数 56,138人
- ・ブックスタート事業での絵本配布人数 815人
- ・読書手帳配布数 1,145冊

(73) 郷土文学資料収集等経費

[図書館]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
490,145	464,319	国庫		地方債		453,969
		県費		その他	10,350	

郷土の生んだ歌人前田夕暮の功績を伝えるとともに、短歌のふるさとづくり事業を進めるため、前田夕暮記念室を運営するとともに、夕暮祭短歌大会、夕暮記念こども短歌大会を実施した。

- ・第34回夕暮祭短歌大会応募数 860首
- ・第35回夕暮記念こども短歌大会応募数 2,077首

(74) 視聴覚ライブラリー運営経費

[図書館]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
185,659	136,673	国庫		地方債		136,673
		県費		その他		

視聴覚教育資料（16ミリフィルム、ビデオ等）及び機器（映写機等）を貸し出すとともに、映画会等を定期的で開催した。

- ・映画会 実施回数 20回 参加者数 延べ379人
- ・16ミリ映写機貸出数 延べ2台
- ・16ミリフィルム貸出数 延べ11本

(75) 市民大学開催経費

[図書館]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳				
		特定財源				一般財源
150,000	144,000	国庫		地方債		84,400
		県費		その他	59,600	

魅力ある地域学習活動の推進のため、講座を開催し、市民へ学習機会を提供した。

テ　　マ	回数(回)	延べ受講者数(人)
戦後文学を読むー東京オリンピックの年に考える日本社会ー	5	143
萬葉集の世界 20 卷三を読むー死者をいたむ歌ー	5	123
計	10	266

(10) 公債費

公債費

[財政課]

単位：円

予算現額	決算額	左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
3,462,124,000	3,443,989,767	国庫		地方債	3,412,497,592
		県費		その他 31,492,175	

令和3年度の市債元利償還金のうち最も古い借入れは、平成8年度西中学校校舎等耐震補強事業債（借入額26,100千円、利率2.6%、償還期間25年、借入先旧簡易生命保険資金）であり、これを含めて次のとおり償還した。

- ・償還元金 358件 3,351,000,123円
- ・償還利子 439件 92,989,644円